

古方曰

加積村

三
室
一
四
四

〔富山〕了

溫古の栞總目錄

雜誌溫古の葉は、新潟縣長岡市の好事家が相寄つて組織してゐた温古談話會から發行されたもので明治廿三年一月十五日創刊以來篇を重ねる事三十有六、二十六年十二月十五日を以て廢刊してゐる。主として、越後一國の「地理人情衣食住及び其就業用具の沿革莊郷村落の變遷方言古俚歌の由來神社佛閣名勝地古城跡舊家の去就古畫器の保存若くは國產盛衰の起因を探究」する事を目的とした、所謂温古學的業績の集成であつて、隨所に珍重な資料の散見するのみならずその學問に對する眞情と熱意とは少からず我々を啓發する所以のものがある。活版本、半紙判袋綴每篇三十數頁、定價金十錢、坊間既に完本に乏しく價數十金と稱へられてゐる。要目の掲載に當つては、同誌所載の目次を骨子としてこれに本文に従つて細目を加へた。六號組の部分が即ちそれで、括弧の中の數字は所在の頁數を示すものである。

溫古の葉

初篇

明治二十三年
一月十五日發行

○沿革の部

○越後國(一) 越の國 越前 越中 越後

出羽 佐渡 田數 御國繪圖

○郡郷(一) 頸城伊保野 古志 三島 魚沼

沼毛 山本 蒲原 沼垂 岩船 刈羽 屬馬

○領主(一) 朝原親王 平維茂 繁成 資

長 長茂 源義仲 城義賢 資盛 佐

佐木盛綱 北條朝時 新田義顯 上杉

朝房 師泰 仁木義長 上杉憲顯 房

忠 長尾爲景 上杉定實 景義 景虎

(輝虎) 景勝 堀秀治 村上義明 溝

口秀勝 堀忠俊 松下忠輝 (下略)

○神社佛閣の部

○伊夜比古神社(四) 谷入の瀧 私雨

太々神樂の例祭 祇園會燈籠押の始

什寶 男龜女龜 託宣 正蹟の紛議

○桐原石部神社(五) 三代實錄卷之五曰 神官

○居多神社(六) 三宅實錄卷之五曰 神官

○三宅神社(七) 礎石の舊跡 玉塚

○蒲原神社(八) 五社明神 蒲原六郎坊

白蓮寺 六郎祭

○國分寺(七) 聖武帝の勅願 謙信の大勸

進 元祿雷火の災

○山寺三千坊の舊跡(七) 行基 空海

權現石 酒類童子の舊跡 華園寺 藥

效の石橋 經塚

○本城寺(八) 日蓮筆大黒天畫像 牛池

○釜澤觀音堂(八) 行基作木造觀世音

同資頭盧木像 鰐口 棟札 夕日の原

米塚糠塚灰塚 夫婦石 珍器の出土

○名所舊跡の部

○歌枕(七) 伊夜比古の神 越の高根 越

の松原 越の湖 五月雨山 鳥屋野の

里 有明の浦 瀬波の渡り 雪の高濱

越の浦 名古の繼橋 名古の浦 越

の菅原 岩戸窟 堺川 歌濱 上路山

布川 親知らず 松の山鏡

○七不思議(七) 燃る水 燃る土 海鳴

土鳴 神樂 白鬼 鎌鼬

○田代の七つ竈(十) 祇園 太田新右衛

門の事 魚留の瀧 辨天の龜 鈍子の

瀧 堅格子横格子の奇景

○上路山(十) 百魔山姫 諸曲 公時出

生の舊跡 抱齋の奇效

○越の浦(一三) 寺泊 寺泊 小間

が岬 越路の浦 越の海

○順德天皇の舊跡(一三) 寺泊 五十嵐

喜兵衛舊屋 古泊 王間 眞野山

○妙法院親王の舊跡(一四) 王番田村

十王堂 長谷治風 寺寶村

○源義經の舊跡(一四) 華園寺華園觀音堂の

辨慶の遺物 猿供養寺 駒ヶ嶽 甕割

坂 力餅 産水 抱衣權現 白糸の瀧

懷胎に五月帶を用ゐる事 硯石の奇

效 飛付岩 五十嵐喜兵衛 辨慶の借

用手形 辨慶の井戸 ナガトコ 笠懸

石 穴一石 八幡村の八幡宮 馬下

の難所 西奈彌神社 栖吉村 松尾村

○上杉房能自盡の舊跡(一五) 松之山天

水越

○上杉顯定戰死の舊跡(一六) 長森原の

舊跡 菅原 南雲家の舊記

○古城跡の部

○高田の古城跡(一七) 關之莊高田の城

越の藩主 松平忠輝 代々の城主 恆例引

○長岡の古城跡(一八) 大島莊長岡の城

引形堀の城 堀直弁 白狐の奇蹟 長岡名

稱の所以 代々の城主 引付 八文字

樽浮島の城 藩中屋敷割 享保の炎上

○新發田の古城跡(一九) 豐田莊新發田

の城 高田の城 溝口秀勝

○村上の古城跡(二〇) 小泉莊村上の城

代々の城主 本莊繁長 村上義明

○與板の古城跡(二一) 吉川莊本與板 籠

澤入道 大津の新城與板 直江山城守

釜(土穴) 倉子の清水 代々の城主

○物の起源の部

○神樂(二二) 岩戸神樂 かはやしる夏神樂

○大陰曆(二三) 元嘉曆 儀鳳曆 大衍曆

五紀曆 宣明曆 貞享曆 甲戌曆

寛政曆 天保曆 大陰曆の廢止

○十二支時刻配當(二三) 陽數陰數 十

二支の陰陽 九ツハツ七ツ六ツ五ツ四

ツ時の所以 時の鐘 午の貝 時の大

鼓 今晩今晝今晩(今夕)今夜の別

○髪(二四) 髪蔓 かづらひも あげまき

眉刺 結髮の起原 月額 櫛 月代

立髮(一) 鬢付油 元結 文七元結

切元結 美軟石(髪かけ)のなんかつら 髮結

床 女髮結

○名家去就の部

○上杉家去就(二四) 細目省略

温古談話會員氏名表(二五) 古志郡神風

講社氏名表(二四三) 其他

二篇

明治二十三年
三月十五日發行

○沿革の部

○海(一) 鹽竈 大口魚場 浮繩

○湯(一) 楊枝湯 上關湯 鐵湯 田湯

大湯 丸湯 浦湯 徳入湯 前湯 熊

湯 藤湯 八枚湯 鷹湯 飯出湯 茅

野湯 佐湯 御手洗湯 早湯 六字湯

長湯 的場湯 白鳥湯 鳥屋野湯

福島湯 御用湯 山倉湯 追湯 菱湯

清湯 障泥湯 角間湯 磐船湯 圓上

寺湯 大湯

○信濃川(二) 筑摩川 犀川 信濃川 大志

久見川 中津川 清津川 荒間川 入

間川 八ヶ峯川 田合川 追田川 飛

垂川 樟田川 麻敷川 仙田川 惣瀧

の難所 魚野川 大野川 川合の難所 カイ

田川 赤木川 猿橋川 刈谷田川 貝

喰川 五十嵐川 天神川 加茂川 五

社川 小阿賀川 龜田川 千谷川 梁

川 澁海川 黒川 焼田川 西川 中

神社佛閣の部

- 伊夜比古神社縁起(一) 天香山山尊
天五田根尊 天忍人尊 天戸國尊 建
筒草命 建田背命 建諸陽命 山跡得
玉彥命 弟彥命 玉勝山代根子命 淡
屋別命 葛城記(一) 手占代命 建稻
種命 俊綱根命 尾張少彥命 尾張
金連 尾張坂合連 尾張醒連 弟州好
連 神領 御祓川
- 美久理神社(一) 枕草紙卷之十云
○漆山神社・矢耆神社(一) 矢耆の屋
根 岩窟の隈風 大澤朝見す
- 三島神社(一) 元祿の火災 引付 鶴の
丸の寶劍 劍野村(一)
- 天津神社(一) 一之宮 押上濱柳形神社
ヤイギ(一)
- 三十番神堂(一) 番神の御 日蓮の勸請
本化をホツケと訓 古墳發掘 鬼の洞
○見玉不動堂(一) 見玉分 新田義治の
守佛 新田の隠れ窟 金塚 涌井家
重寶の出土 上の城中の城下の城 小
松原入の古蹟
- 高田毘沙開堂・金谷藥師堂(一) 謙
信の歸依 鶯張の椽 引付 日朝寺の
毘沙開天 道風の扇額 五色の土
○極樂寺(一) 石打殿 寺領書 寛永の大
火 境内の天満宮 畫像の奇蹟
- 金仙密寺(一) 飛驒の匠 葛浦の前
觀音堂 竹を切るに雨降る 葛浦家
小國義政 賴政松 隼太家
- 德昌寺(一) 直江山城守の菩提所 井
伊家の菩提所 行基作十一面觀世音
讀經地藏(高幢比丘作) 奇木根杉末松
○寛益寺(一) 行基 飛驒の匠 一刀三
禮の藥師佛 其他の重寶 仁王腹内の

名所舊跡の部

- 松之山里・鏡ヶ池(一) 蘆谷莊松之
山里 十二俣廿三湯 しかべつたうの
奇 湯本村の温泉 湯場の制札 湯錢
木錢 松の山鏡 越後昔語云
○秋山入(一) 大赤澤 前倉 甘酒 小
赤澤 上之原 屋敷 和山 和山の湯
切掛の温泉 平維盛 男子の名に平
の字を冠す 木曾義仲の子孫 信濃と
地を争ふ
- 苗場山・秋成の天然田(一) 伊米神
社正殿 苗田 御花畑 中の城 天然田
○月不見池(一) 八十八ヶ瀬 藤の名木
謙信の遊宴
- 瀬波の渡り(一) 勢波 年中朝よ
り巳の時まで風吹く事
- 鳥屋野の里(一) 御天皇山 御馬冷し
池 御馬繫ぎ杭 奇木八本松
- 親鸞師の舊跡(一) 竹の鼻配所の跡
鏡の井 繫樵 八房梅 珠數懸櫻 三
度栗 逆竹
- 平頼盛の舊跡(一) 頼盛退隱の館跡
大竹星野稻庭三家 木像 白髮水の洪
水
- 北條氏の舊跡(一) 關之莊 小川莊
(執事蘆名氏) 倭論語云
- 新田氏の舊跡(一) 上田莊關山 北堀
内 土梅白石山 荒井莊關山 一族の
居城 仁田村の起原
- 古城跡の部
○村松の古城跡(一) 菅名莊村松 堀直

寄

- 三條の古城跡・女藤ヶ瀬(一) 大槻莊
三條 島の城 池頼盛 定明寺 代々
の城主 女藤ヶ瀬の怪
- 津川の古城跡(一) 小川莊津川 狐辰
りの城 平維茂 代々の城主 西村八
幡宮
- 栃尾大野の古城跡(一) 高波莊栃尾
大野山 代々の城主 舞鶴ヶ城 上杉
謙信 屏風石 古文書 佐々木氏墓本
氏 名木磯松の料田 菅公の木像 上
古の樹
- 坂戸の古城跡(一) 上田莊坂戸 城資
長 板額 代々の城主 長尾景景 景
勝 富士權現 長尾家の墳墓 礫石
- 青海の古城跡(一) 沼川莊青海落水
豪族須賀 秀吉來城
- 春日山の古城跡(一) 關之莊中屋敷
府内の城 源義家 春日明神 代々の
城主 山城廢棄の命
- 柏崎の古城跡(一) 鶴川莊柏崎 柏崎
勝長 香積寺 鏡ヶ沖 お菊が靈火
- 片貝の古城跡(一) 淺原莊片貝 片貝
家 魚無澤
- 物の起原の部
○金・銀・銅・鐵(一) 百濟敬福 金
花山 天平勝寶の改元 忍海大國 和
銅の改元 銅鐵 水銀 雲母 紺青
金座 銀座 銀改所 分銅座 量目
○聖德太子御製五憲法 憲法本記(一)
細目省略
- 神代の文字(一) 神字日文傳(文字省
略)
- 名家去就の部
○上杉家去就 承前(一) 細目省略
○松平越後家去就(一) 細目省略

溫古學問答の部(一)

- 神踊り・十五童子遊び・矢大臣遊
び・仁王遊び・谷音遊び・横濱遊
び・シダラムキ遊びの問
- シクメナハの問
- 歳の字の問
- 科代・野良・鄙妻の問
- 溫古の葉發行祝詞祝歌(一) 長岡町覺
張治平氏追慕會(一) 會員内藤彌
氏講話摘要(一) 會告(一) 長岡眞宗
開教會假規約(一) 古志郡神風講社氏
名表(一) 其他

三篇

明治二十三年
四月十五日發行

會説(一)

- 沿革の部
○村里(一) 國 郡 莊 郷 里 保 村
島名 大名小名主名字名所 名の字を
附たる村名(見目省略)
- 家屋(一) 穴居 竈或へ竈の口 木居
竹俣家藏書民家眞圖 松平越後家示書
牧野家示書
- 衣服(一) 絹 衣服の制 衣裳の式
源義家法 上杉家法 民間に模無
き事
- 通貨(一) 切金(一) 切金 出土の古判
金 柳葉小判 切實
- 神社佛閣の部
○伊夜比古神社縁起 承前(一) 宮殿造
營 本社 中殿 一之鳥居 長床 靈
輿殿 末社 舞臺 飯殿 酒殿 文庫
神輿殿 神馬殿 潔齋殿 廳屋 御
池玉橋 阿羅波々幾門 御手洗河橋

二之鳥居 瑞籬 祓殿 三之鳥居 御

- 遷宮 金智大師 牧岡大明神 黒鳥塚
の由来 其他歴代の事蹟
- 岩船神社(一) 天の磐船 水主の子孫
靈驗の神水 有明の浦
- 中鶴川神社(一) 鶴川莊黒姫山泰澄作
如意輪觀世音 縫織の守護神
- 石動神社(一) 大島莊宮路村 神路山
嶺上の音楽 大島居の礎石 宮路權現
痘瘡疥癬の祈願 神官菊池氏
- 南部神社(一) 高波莊森上村南部ヶ嶽 御
鍋權現 社女の事 森の字を附たる地
名見目省略
- 春日神社・八幡宮(一) 春日山 春日
山鬼門の守護神 府中の八幡宮
- 浦佐毘沙開堂(一) 魚沼郡中の鎮守
名工甚五郎作の山門 普光寺 櫻押の
祭 土民肉食せぬ事
- 椎谷觀音堂(一) 海中出現の觀世音
觀音坂 路傍の古塚
- 米山藥師堂(一) 泰澄 臥行者 米山の
由来 女しらべ 山臥石陰陽石 三才圖
繪云 高田城主の官林 小杉澤の靈蛇
景虎初陣場
- 長松寺(一) 萬竹の雪が長松にお
はします云々
- 靈善寺(一) 空海の開基 直筆柿不動
重寶の法具 領主引付の事 鉢ヶ峰
ふるしの杉 經石
- 圓福寺(一) 音羽の前 嗣信忠信の碑
寺寶の遺品 佐藤氏の末流 甲賀左
兵衛佐の墳墓
- 國上寺(一) 國上山越の山 聖德太子
雲上記 越國佛法最初の靈地 國中上
一の勅宣(國上名の由来) 行基作阿彌陀佛
歷朝の勅願所 泰澄雷神を降伏の事

名所舊跡の部

- 親不知子しらべ(一) 風波見駒返り
新道開鑿 親しらべ子しらべの景(一)
○應化の橋(一) 三莊太夫の傳説
- 八石山(一) 不動ヶ瀧 屏風ヶ瀧 八
石の大豆 三桶の大豆 大豆の門柱
○守門ヶ嶽(一) 諏問ヶ嶽 菓守の峰
宗祇の遺筆 貝喰石 布引ヶ瀧 硫黄
泉
- 氷ヶ池(一) 水底の瑞龍 衣懸ヶ櫻
○五頭山(一) 五月雨山 雨乞の靈池
立石山の立石
- 粟生島(一) 粟穂島 前濱 釜屋 上
の泉屋下の泉屋 小柴山の牧馬 觀音
寺
- 藤原時平舊跡(一) 逃入分 時平塚
如塚 土俗梅を植る 末裔佐藤氏
○日野資朝舊跡(一) 後裔山本氏傳
自詠自筆の短冊 辭世の頌 自筆法華
經一部 紙の法華經 首洗ひ池 墳墓
- 高・仁木氏の舊跡(一) 高師泰 主
從の末裔 仁木義長
- 夢想師の舊跡(一) 寺泊石原氏米屋
圓福寺 僧友梅

古城跡の部

- 新潟の古城跡(一) 新賀田城跡の城
玉木屋大隅 若狹屋常安
- 飯田の古城跡(一) 五十嵐莊飯田山
入 五十嵐小豐治 舊家熊沼氏の一ツ
女(一)の傳説 若一王子社の礎石 小
豐治の末裔
- 見附の古城跡(一) 大面莊見附本町
長尾俊景 俊景の後裔 相傳の古書器
○岩方の古城跡(一) 岩方村金ヶ崎 瓜
生判官 名稱の由縁 山間の古墳
○藤巻の古城跡(一) ヤナクネ山 梶
原景則 景則流の挿花
- 赤谷の古城跡(一) 高波莊赤谷 那須
與市 森岡源内 高森藥師 古戸ヶ池
の怪
- 上條の古城跡(一) 大島莊上條 ふけ
地 上杉家居城 代々の城主 舊城下
町 八ツ藤の古木
- 七日町の古城跡(一) 小國保七日町
上杉憲政
- 枇杷島の古城跡(一) 鶴川莊枇杷島
宇佐美滿秀 定行 筑波集の再輯
○福島(一) 岡田莊福島 堀秀
治 長恩寺
- 鮫ヶ井の古城跡(一) 荒井莊宮内鮫
ヶ井 防人在營所の一 代々の城主
- 時水の古城跡(一) 藪神莊時水 曾根
家累代の居城 爺水婆水
- 物の起原の部
○聖德太子御製五憲法 通蒙憲法(一)
政治家憲法(一) 細目省略
- 文字通用蒐集(一) 阿刀岐 王仁 王
仁の畫像(一) 王仁の墳墓(一) 王仁
神代文字 舊事本紀 倭作の文字 古
事記 日本紀 平假名 いろは 片假名

會説(一)

- 沿革の部
○沿毛(一) ツノメ ノトシロ アラク
ジンバ イセシロ キヤウイツミ 叔
芽のイガ コボレ シラカハ シコク
ハヤシコク 六八日 八八日 マン
シチ ハマノト(赤イガ) イマアラキ
(白イガ) マンシチ作付の禁 タカミ
ヤメグロ クロガネ ハナダ コボ
レナカテ イガモチ ゼンシチ
- 米俵升入(一) 四斗の定法 延久制の官
升 元和の改制 斗量の度 高田ばん
舊制の升を破棄せし事 升座 福井
作左衛門 錢屋惣兵衛 江州武佐の升
(むさうばん)
- 通貨(一) 切銀 當國にて銀を吹事
(灰吹) 切銀通用の禁 切銀の極印
寛字銀(一名長岡銀文ハ鈍銀) 銀座跡

四篇

明治二十三年
五月十五日發行

會説(一)

- 沿革の部
○沿毛(一) ツノメ ノトシロ アラク
ジンバ イセシロ キヤウイツミ 叔
芽のイガ コボレ シラカハ シコク
ハヤシコク 六八日 八八日 マン
シチ ハマノト(赤イガ) イマアラキ
(白イガ) マンシチ作付の禁 タカミ
ヤメグロ クロガネ ハナダ コボ
レナカテ イガモチ ゼンシチ
- 米俵升入(一) 四斗の定法 延久制の官
升 元和の改制 斗量の度 高田ばん
舊制の升を破棄せし事 升座 福井
作左衛門 錢屋惣兵衛 江州武佐の升
(むさうばん)
- 通貨(一) 切銀 當國にて銀を吹事
(灰吹) 切銀通用の禁 切銀の極印
寛字銀(一名長岡銀文ハ鈍銀) 銀座跡

神社佛閣の部

- 村永寺 新湯永字銀 同寶字切銀 同長字切銀 柏崎永字切銀 糸魚川切銀 柳葉小判 カラスミの古金
- 船江神社
- 上彌彦神社 一名魚沼神社或越後二宮 正員十八末社
- 熊生神社 潮路の鐘 權現山 田畑に肥料を用ゐる事 四蓋波
- 松尾神社 女人の禁 船道一名黒岩
- 出田神社 煙室の作造に社境の土を塗込む事 供米に施肥せざる事 社頭に粥を煮て年の豊凶を卜する事
- 金峰神社 俗稱藏王權現 別當安禪寺 藏王の大神 尼ヶ池の舊跡
- 太田神社 神の腰懸石 別當永寶寺
- 河内神社 河内太郎 金齋の平癒
- 妙高山阿彌陀堂 別當寶藏院 堂宇用材の古例 五位與左衛門 名位の瀧
- 柏崎閼魔堂 閼魔祭の市
- 十日町觀音堂 靈驗水 妙法塚 音羽の前の遺跡 アダゲ池
- 龍藏寺 龍ヶ池 請雨壇の奇驗
- 正覺寺
- 常安寺
- 乙寶寺 椋下の釜 血の池
- 慈眼寺 玄翁の遺品
- 楞嚴寺 下賤渡らずの橋

名所舊跡の部

- 歌濱
- 標の竿

新湯港

- 町地子高 貢納米 輸出
- 入課役 城米請負藏敷 小揚瀬取 小揚藏出入 小揚水上げ 瀬下げ貨水 戸教船 海船 御用船 川船 轉渡船 漁船 大間屋 大綱 小綱 廻船入高 敷出米 豊前米 米運米 鹽の入高
- 基石濱
- 大塔宮の陵墓 淵邊伊賀守の事
- 冷泉爲兼の舊跡 遊女初君の事
- 空海師の舊跡
- 酒頭童子の舊跡
- 古城跡の部
- 栖吉の古城跡 遺跡デクの坊
- 六日市の古城跡
- 片川の古城跡 平澤の城 文祿の一揆 高梨の遺族平澤氏 平澤の池
- 深澤の古城跡 羽黒の古城跡
- 大瀧の古城跡
- 上除の古城跡 除の城 ころび山
- 鳥坂の古城跡 鎮守府の城
- 大木六の古城跡 落城日の習俗 卷機權現 神罰にて片目細く生るゝ
- 北條の古城跡 北條丹後守 安國寺村の勤番城 善根の古城
- 新發田の古城跡 芝田因幡守墳 墓 瘞の奇效
- 赤谷の古城跡 鳥坂山の古城跡 城太郎資長 榎橋太郎 白鳥山の古城跡
- 物の起源の部
- 聖德太子御製憲法承前 儒士憲法
- 歌・俳諧

五篇

- 人形 小平太 野呂松勘兵衛 母子人形 人日 上巳 端午 七夕
- 名案去就の部
- 上杉家去就 承前 細目省略
- 榊原家去就 細目省略
- 三面的小池家去就 細目省略
- 溫古學問答の部
- 神おどりの答
- 十五童子遊びの答
- 矢大臣遊びの答
- 歳の字の答
- 科代の答
- 盈旬の答
- 窓役の答
- 會説
- 沿革の部
- 米俵升入 承前 四斗二升俵 四三八
- 高辻 貫高 永高根取 村高 畑永 反高 込高 延高 無地高 色高
- 通貨 其三四 佐渡上銀 元印銀 佐渡小判 佐渡錢
- 神社佛閣の部
- 伊賀良志神社 一名泥障の宮
- 川合神社 一名泥障の宮
- 二荒神社 麥の培養を忌む事
- 名立神社 飯塚 樹形の古城跡
- 飯塚八幡宮 飯塚 樹形の古城跡

名所舊跡の部

- 貴船神社 家中藏祇ひの事
- 柿白神社 齒の效驗 供奉の白粉 池の觀音堂
- 蒼榮神社 長岡城主牧野駿河守
- 日光神社 富島四郎丸雨村の民互に結婚せざる由縁 王神橋
- 長岡近在の王神 王神受持の定例 申入主 王神免高 鎌王神桶王神 請下
- 緒立八幡宮 兵衛尉一平 洪水の奇驗 靈驗水の奇效 鐵八幡宮
- 杉王神社 杉山伐我の禁忌
- 川井愛染堂 緣日に限り堂内にて魚類を鬻ぐ事
- 千手觀音堂 觀音市
- 風谷藥師堂 御堂石 地藏岩 立石
- 淨興寺 寺寶川越の名號
- 林泉寺 長尾家菩提所 奇蹟の小池
- 永徳寺
- 萬善寺 見晴の絶景
- 多聞寺 浪瀧の不動
- 法光院
- 最明寺
- 淨光寺
- 菅谷寺
- 名所舊跡の部
- 角田山 長者ヶ原 岩暫休の福壽草
- 相俣金山
- 鹽の井
- 清水入
- 田毎の月影
- 焼山 山男山女
- 地藏ヶ原

溫古學問答の部

- 圓鶏の濫觴の間
- 馬の定規の間
- 碓井の落書、庭竈、いたかの間
- 牛王誓紙の答
- 替帳の答
- 鄙妻の答

六篇

明治二十三年 七月十五日發行

沿革の部

- 檢地 大間檢地 石見檢地 檢地帳の下附
- 刈稻の干曝 投干 振干 架干 七手一把と云事 稻場の稱 ケンダ
- 通貨 其四 一分金 大判小判 小玉 豆板 文字金 二朱銀 二分金 一朱金 一朱銀 二朱金 梅ばち銀
- 神社佛閣の部
- 都野神社 俗稱一王神社 御加持池の片目魚
- 物部神社
- 八幡八幡宮 蛇橋の古跡
- 氣比神社 蛇橋の古跡
- 寄木神社 痘瘡の靈效 相場川の奇驗
- 加茂神社 境内社の社
- 新湯白山神社 白山鹽
- 能代若宮神社 供御の逢餅 笏の禁食 古例の御炊 觀音山 廣龍親王御墓
- 釜屋の神 出雲田の釜場 仲間の麻葉 禁忌
- 秋葉三尺坊

名所舊跡の部

- 不動澤阿彌陀堂
- 池津觀音堂 黄金佛出現の靈池 境内の諏訪明神 熊野權現 禁斷の肉食
- 別所虚空藏堂
- 西生寺 口明石 法印弘智が不壞の肉身 山中の佛法僧鳥
- 不動院
- 雪洞庵 宇佐美定行の軍配團扇 鼠足の机 綿石
- 本妙寺 鬼子母神堂
- 昌福寺
- 寶光院
- 眞淨寺
- 託明寺 川越六字の名號
- 本誓寺
- 浦濱 男龜女龜 男獅子女獅子 牛反し 矢請の觀音 七つ倉 白實の木藥子 胎内くまり 明神の投石 浪の題目 角田の洞穴 雲の河原 磯の題目
- 猿ヶ馬場 三足富士
- 鉾立岩 雪の高濱
- 桂澤の瀧 頭痛の效驗
- 妙見の白岩
- 奉納塚 柳村藤兵衛
- 白峰銀山 山先村星源藏 花降銀
- 白峰山 寶永の癡坑
- 化石水 癩病の特効
- 胸ヶ嶽 木の葉石 癩病の特効
- 北陸宮誕生の舊跡 産の宮
- 酒頭童子舊跡 承前
- 古城跡の部
- 血の峰の古城跡 篠塚伊賀守

名案去就の部

- 上杉家去就 承前
- 内藤家去就
- 片田の里見家去就
- 高見の南家去就
- 寺泊の五十嵐家去就
- 佐渡山の野神家去就
- 養和山の星家去就
- 産物の部
- 米穀 米 梗 籾 升入 さや け 五

○油 菜種 黍 胡麻 稗 蕎麥
○菜草 大根 大蕪 蕪菜 若菜
○山芋 蒟蒻 葱 牛蒡 生薑
○甘藷 蔕 百合根 紫蔕
○山葵 防風 菱の實 蕪菜 蓮根 松
○草 松露 椎茸 木耳 和布 海苔
○西瓜 甘藷 南瓜 馬鈴薯
○食鹽 掛鹽 鹽釜 輸出

○習慣の部

○農家造作 家の造作後主に仕繕す事
○邸地に藥草を植る事
○畑境界の事
○往來挨拶の事
○茶を饗するにお試みと云事
○贈物心得の事
○温古學問答の部
○確井落書の答
○庭竈の答

正誤 廣告

七篇

明治二十三年
八月十五日發行

○沿革の部

○長岡領地法 地方取 知行高四
ツ八分取 船道 免 本途 古新田
外新田 新田 新々田 諸役掛高 諸
役免許高 五ヶ年免下高 見取年貢高
五ヶ年見取年貢高 山高 野手高
漆役高 鮎役高 鮎役高 築役高 惣
高 見取場 反高場
○同收納 一俵四斗七升 榎廻し 賃

○牧野忠成檢地注意 村柄の善惡

○温古學問答の部

○德政のありし年度の問
○薦僧(梵論)の制度の問
○牛王の誓文書方の問
○和文の沿革の問
○男女厄年は何より起りしやの問
○關雞の答
○馬の丈の答
○いたかの答

正誤 廣告

八篇

明治二十三年
九月十五日發行

○沿革の部

○公料檢地法 田畑上中下位附 竿除
免除地 免 山高 野手高 色高
小物成高 見取場
○同收納・役銀 定免取 年々檢見
取 定式石代金納 正米皆納 郷藏
口米 傳馬宿入用米 六尺給米 藏前
入用 大豆田高 油在本途 胡麻 小
役永 小物成運上永 抓漆
○五人組號目 指上ケ申五人組帳之
事 惡鋪者無御座候 吉利支丹之事
不受不施の法 盜賊惡黨訴人 堂宮山
林にからまり不審の者 手負者 行衛
不知の死人 從他所來候者 人ノ賣
買年季之事 奉公に罷出者歸申候者
欠洛の者抱置申問敷並行衛不知もの
宿賃申問敷候 人を殺退き申候者
○長岡領賞罰法 賞三等 重等 中
等 輕等 罰三等 火罪 人殺 打首

温古の葉

米代金 揚米 次米 立用米 穀留
證人藏 國役高割 諸役掛高割 米納
割 定納 三畝木 帳本

○神社佛閣の部

○佐多神社 天王の宮
○三島神社 大山祇命 三島神社最初
臨幸の正蹟 古鏡
○熱田神社 奈岐乃里 八坂の劔 尾
張熱田神社より送らる 不測の怪異
楓田神社 小丹生神社舊跡 同最初臨
幸の地
○浦瀬八幡宮 源義家 武器を石板
に入れ埋めし標の模 蘆の浦 牛もぐ
り淵 埋れ木
○長岡神明宮 一名柳原神社 雷
神の像 並添狀
○宮川天満宮 竹布の畫像 公直
○伊志會禰神社 船の岡山船得明
神 柴の渡の古歌 城資長 鎮座の松
○押付稻荷神社 古右衛門 狐の
穴 小豆の飯油煮の豆腐 盜難祈願
○小千谷觀音堂 船を埋めし舊跡
○七日町地藏堂 東池 長者館の
越某 敷地藏
○金剛光寺 空海開基 古代陣鉦
○圓福寺

○懸橋寺 窟の地藏 羅石の社 懸
橋百間岩
○淨福寺 親鸞和歌 川越名號 親
鸞枕石
○常敬寺 花園天皇勅語
○慈光寺 佛法僧慈悲心鳥 天狗の
誓ひ 從堂能勝毒蛇濟度 開山傑堂は
楠正成五男庄五郎 正成消息 靖池
○孝順寺 三度果 親鸞詠歌石碑
○天樹寺 天樹丸 從岡中將資尙墓
○平等寺 維茂將軍以來菩提所

○名所舊蹟の部

○難波山 風洞
○耶麻驛 夜麻
○苗字塚 北條時頼 高頭氏
○親鸞清水 諸の怪
○白崎の雞 平家落人 アマノシヤ
ク雞鳴の事
○宗祇の舊蹟 承前
○酒頭童子舊蹟 承前
○古城跡の部
○小木の古城跡 出ずが澤の魔所
○田之口の古城跡
○池之島の古城跡
○田井の古城跡 楠正行遺兒神戶景
○瀧谷の古城跡
○石曾根の古城跡 花車の事 龜石の
渡部の古城跡 花車の事 龜石の
由緒 里人の外へ傳ふるの禁
○五十土の古城跡
○長峰の古城跡
○高山の古城跡
○小栗田の古城跡 古墳の跡

○書翰禮式 顯宗天皇二年稻一斛銀錢一
文 天武天皇白鳳二年詔 鑄錢司 和
銅開珍錢文の初 萬年通寶 天平元寶
開基祐寶 神功開寶 隆平永寶 富
壽神寶 承和昌寶 長年大寶 德益神
寶 貞觀永寶 寬平大寶 延喜通寶
乾元大寶
○白粉 沙門勸成 馬齒莧の葉より
水銀をとる事 錢屋宗安 小西清兵衛
白粉の看板に白鷺を描きし事
○傾城 李夫人 遊女夜發 赤間
室津 たち君 つじ君 翁物語 吉原
忘八屋
○名家去就の部
○上杉家去就 承前
○堀家去就 承前
○長岡の城家去就
○黒坂の淺倉家去就
○大白川の淺井家去就
○和南津の喜多村家去就
○産物の部
○木材 杉 松 樺 桐 竹 盆 裁
○果木 梨 梅 柿 桃 柿
○蜜柑 葡萄
○藥草 細辛 茯苓 黃蘗 桔梗
白木 黃連 半夏 當歸 荒藍 薄荷
採取の時 延喜式の記
○綿草 菅家類聚國史の記載 木綿
草 バンヤ草 ガンガラビ
○産物の部追記
○野草の刈込
○饑饉準備の貯
○割地

○小山田の櫻 花梅の種類 櫻の種

○古城跡の部

○長峰の古城跡 かしらし島石
動現 新田義顯
○來迎寺の古城跡 片眼の魚籠
青木主馬重勝 長者ケ原百塚
○高山の古城跡 上杉遺民一揆 十
六ヶ淵 龍玄池
○堀金の古城跡 鬼山吉 鐘ヶ沼
沈鐘傳説
○中野侯の古城跡
○山本の古城跡 和泉守景家
○柿崎の古城跡 直江家代々の
居城
○安田の古城跡 金津新兵衛義古
○金津の古城跡 佐々木の城 廣瀬居城
○麓の古城跡 高綱古塔

○物の起原の部

○度量衡 一尋 周尺 度の起原説
孫子蠶絲 漢志黃鐘 從黍橫黍 徂
徂 唐大尺 曲尺 上古の尺 鯨尺
銅尺 八段割口傳 量 周 漢 本朝升
制 後醍醐帝勅造斛器 石取計 衡 兩
斤 文武令 神善四郎(京) 守隨彦
太郎 神善四郎(飯) 守隨の寶弘所
檢査 試秤 定價觸達書
○軍役法 兵賦の事 公侯の國 伯

○名家去就の部

○井伊家去就
○長岡の稻垣家去就
○栖吉の今井家去就
○五ヶ濱の遠藤家去就
○中之島の淺野家去就
○大所の寺崎家去就
○産物の部
○薪 薪木 薪炭 葉柴 諸地用
薪
○炭 山下炭 枕炭 西谷炭 小澤
炭 谷根炭 上田炭 小出炭 仙田炭
西山炭 風谷炭 杉尾炭 手籠炭
下田炭 鹿熊炭 加茂炭 網木炭 薪谷
炭 會津炭 海府炭 和炭
○紙 紙の始め 小國紙 才吉紙
仙田紙 伊澤紙 反口紙 田川紙 枅
尾紙 奉書 中折 鼻紙 包紙 大谷
地紙 河内紙 伊豆原紙 和紙 加茂
紙 二枚紙 七九寸紙 津川紙

溫古の葉

- 漆・蠟(三三) 黒漆木 廣田村 里蠟 蠟燭 餐附油 山蠟 蠟を採る本草 五種

○茶(三三) 嵯峨天皇 榮西 釋明慧 岩上茶 梅尾 宇治 當國小泉莊 五泉 乙邊 ホイツミ 茶と茗

○習慣の部

○遠慮繩延引棒(三三) 不幸ありし家年賀の禮者を絶する標

○櫻さめ神なし(三三) 三月十月縁組せざる事

○角隠し(三三) 嫁せし女貴客に對し手拭を被りて挨拶すべき事

○分散配當の事(三四) 借金整理方法

○畑に限り一村共有(三四)

○溫古學問答の部

○野干の刀の甲來の間(三四)

○古來坐頭替女の制度の間(三四)

○亡魂よばいせし事の間(三四)

○寺子屋の風儀の間(三四)

○牛馬のすじ延ありしといふ事の間(三四)

○切支丹耶蘇宗門の本尊並其眞言の間(三四)

○德政の答(三四) 歴史及當國

○薦僧の答(三五) 四派 本即 祕曲 尺八一節引

○牛王誓文の答(三六)

○横濱遊びの答(三七)

三島神社考證(三七) 氏子よりの投書 異種貝發圖 會告 廣告

九篇 明治二十三年 十月十五日發行

○沿革の部

○檢見法(一) 早稻 中稻 大檢見 差出し帳 町反改 内檢見 本檢見 道刈 幸切 樹入 坪刈 樹様し 本免引免

○牧野家有司の制度(二) 公用録 家中分限帳 定役 諸士法制 足輕以下法制 藩中交際 家老の藩中廻り 家老の諸士應應

○同領民の制度(三) 鄉村帳 檢斷町老 庄屋組頭横目 五人組

○稻葉家の所領地(五) 淀城主 二萬千石當國三島郡 出張所 檢地法 廻米 助郷 草生水 賞罪寛典

○五人組條目 承前(六) 出家山伏等の家行衛不知者に宿貸し不審成者 牛馬を率通 博變賄賂負仕間敷 田畑荒し申間敷 竹木伐採仕間敷 田畑屋敷永代賣仕間敷 田畑屋敷山林實物に取貸金 質物の儀 御公儀様へ納物仕御手形 印刷の事 火の用心 御公儀様御用の人馬並萬宛物

○河海漁業 出雲崎濱(八) 漁場境界し ゐら場 蟹場蟹の雌を漁せず 鰯 ハタハタ 鰯 鰯 海栗 鰻 漁餌概略 釣針七種 豐之濱組合

○神社佛閣の部

○菅原神社(九) 菅原の里

○伊米神社(九) 一之宮 鍛冶の業 塚 香盆

○三坂神社(一〇)

○朽堀若宮神社(一〇) 陵墓 コシノキ セナガ

○五邊八幡宮(一〇)

○新發田諏訪神社(一一) 雲上佐一郎

○宮の下一之宮神社(一二) 雲上佐一郎

○山谷不動堂(一二) 藤左衛門の事

○遣水觀音堂(一二) 藤左衛門の事

○大久保地藏堂(一二)

○長岡太子堂(一二)

○普濟寺(一二) 白蛇池 痘瘡の呪 蛇池 蛇柳

○妙宗寺(一二)

○長福寺(一二) 咳の十王

○照明寺(一二)

○西性寺(一二)

○照專寺(一二)

○長樂寺(一二)

○海藏院(一二)

○種月寺(一二) 唐見石

○華報寺(一二) 三階ヶ瀧 塞の河原

○日光寺(一二)

○名所舊跡の部

○八海山(一二)

○仙田の噴水(一二)

○田中の蠶石(一二) 蠶養石の由來 信秋の頌歌

○葛葉越(一二) 義仲城長茂合戦

○善光寺濱(一二)

○小更池(一二) 小更の前傳説 二十二歳の女立寄れば夜遊荒るゝと云

○三ツ家の渡り(一二)

○吉ヶ平の池(一二) 大池九池馬追池 雨追明神 雨乞 赤蛇 白田螺

○奇石(一二) 富士石 夜光石 抱轡石 文字指石 烏帽子石 陰陽二石 解毒石 蛇蛇及一切の中節を造り 笛石 青石 金洞の響 鯖石 龜石 鐵含石

○古城跡の部

○浦瀬の古城跡(一二) 高津谷入庵 翠

○水攻 朱を發掘 慈元坊 亂穴

○瀧谷の古城跡(一二) 坂西太郎重定 女瀧 男瀧

○大沼の古城跡(一二) 北條惟秋 古池の怪龜

○樺之澤の古城跡(一二) 栗林右馬之介 斷水攻

○糸魚川の古城跡(一二) 荻田主馬

○不動澤の古城跡(一二) 飯沼氏

○高内の古城跡(一二) 宮ヶ崎の池の怪龜

○吉江の古城跡(一二)

○保田の古城跡(一二)

○五十公野の古城跡(一二) 井地峰道壽 升形の池

○平林の古城跡(一二) 伊呂部長實

○物の起原の部

○山林(一二) 五十猛神 山守部 材木の禁 安藝縣 大和土佐 周防巨村 美濃 吉野杉の源

○酒造(一二) 素盞烏尊 百濟人 清酒の始 運上役 儀狄 萬葉 石祚 醴酪 麴酒 釀角取

○柔術(一二) 拳 陳元贊 福野磯貝三浦 三士 六種引立 及等道技無雙花車 去甚九歌(一二) 越後甚九 盆躍 起原節 遊女りん作歌 だいりう歌詞

○私窩子(一二) 當國各地方言 薦冠り 船艘頭 潜り 憂身 川賣 家亡女 亡城 夜鳥 鬼 絞り 空指 機織 引張 達摩 流れ 家打 手控 螢 隠し 捨婦 屍 君 祕女 走り 素人 白二布 蛭蛇 冷水杓 飯盛 井

○名家去就の部

○柳澤家去就(一二)

○片貝の安達家去就(一二)

○半藏金の山内家去就(一二)

九篇

明治二十三年
十月十五日發行

◎沿革の部

- 下條の田邊家去就(三〇)
○西千谷川の織田家去就(三一)
○村上岡田家去就(三二)
○産物の部
○煙草(三三) 名産地 廿日石 武道窪
龍光 大崩 大鹿 花房 來傳 中澤
赤塚 澤海 三本木 起原 煙草入
四功 相思草 苗場山(三三)
○動物(三四) 牧馬 牧牛 水鳥 鶏卵
魚類 鱈 鮭 イサナ ウルカ ヤメ 鱒
鯉 鰻 鰻 鰻 ナナゴ 鰻 鰻 鰻 鰻
赤鯉 ワカサギ 鱈(一名山椒魚セングラン鰻) 鰻
鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 フクラゲ 生ハ鼠
○鑛石(三五) 金銀銅鐵 石灰 石炭 硫
黃 燐石 砥石 硯石 木葉石 浮石
磨砂 鐵砂 花紺青 岩紺青 印石
綿石 木石
○製具(三六) 鍋釜 鐵釘 鐵物 毛拔
紡錘 陶器 瓦 切石 山灰 炭團
戸障子 扇子箱 元結水引 厚疊芳簀
足駄漆器傘 茅葺疊 蕨簾 折敷 竹
皮笠 指物疊 曲物 櫛 白箸 團
扇 ぼて 飾 萬斛飾 黍殼簾 菅笠
荷棒 桐油 筆 提灯 線香 香燭
火繩 雪駄草履 木鉢杓子 竹細工
鐵臺木 杓 木工鍛工
○習慣の部
○稻刈の事(三七)
○伊勢まゐり忌詞(三八) 十三種
○約束の手打(三九)
○石灰に關する約語(四〇) 大浪小浪 敷
灰
○薄荷圓製製に關する約語(四一) 晴何
雨何
○胴に上ると云ふ事(四二)
○溫古學問答の部
○古志郡東南の山入を廿村と稱する
起原の問(四三)
○當國中異訓の村名の問(四四)
○七福神の繪・片名呼・小倡の由來
の問(四五)
○天狗の怪、狐の嫁入の問(四六)
○人の強弱を牛と羊に譬ふるの問
(四七)
○野干の刀の答(四八)
○古來坐頭警女制度の答(四九)
○亡魂よばいの答(五〇)
○切支丹云々の答(五一)
○沿革の部
○各驛月次市日(一) 市商の始 當國各
驛月次市日 祭市 魚市 縮市 觀
音市 春日市 岡崎市 馬市
○河海船數(二) 松平光長調査 海船 河
船 朋高船 四十二隻積定法 縮船
四斗入百五十俵積定法
○米の拵方(三) 稻コキ センバ 摺白
チキリ 挽白改良 野右衛門 竹卷
土白 定七の土白 桶白 大道白 横
柄杓 籠 ハリマ トウミ 萬石籠
○長岡領民制度 承前(四) 割元役 郷
横目役 組用掛役 四名數役 普請掛役
藏掛役 杖庄屋役 山組頭山横目馬横
目 藏番 藏小使 定小番 山刀 定
入足 役場飯焚
○同地主小作の關係(五) 割地名持地
定德小作 入付小作 子女を傳て償ふ
○志名 地親 收納米金
○五人組條目 承前(五) 不應身に家作
仕間敷 米を大切に可仕 大酒吞申間
敷 神水を吞神文を致一味仕間敷 進
退不成百姓 獨身の百姓煩 旅人并飛
脚の者相煩 大雪大雨にて道橋惡鋪罷
成 酒造り申儀 御年貢御割付御出被
成次第皆濟可仕 百姓の跡立申儀 侍
を立候者百姓仲間入
○神社佛閣の部
○石井神社(七)
○川谷神社(八) 五篇の追加 謙信詠
歌
○住吉神社(九) 堀家の祖神 市榮の神
旛
○矢津八幡宮(一〇)
○矢立神社(一一)
○六日市稻荷神社(一二) 飯綱權現桐原石
部神社 養蠶の道を守る
○矢吹神社(一三) 矢吹の神荒
の靈狐
○青山石動神社(一四) 大蛇無墓 三疋
○高梨一王子神社(一五)
○長崎觀音堂(一六)
○田上三佛堂(一七) 手取ヶ淵
○澤下條阿彌陀堂(一八)
○安淨寺(一九) 安原庄右衛門尉安淨の事
○法華寺(二〇)
○藥師寺(二一)
○海岸寺(二二) 惡鬼傳說
○西福寺(二三) 火通れの阿彌陀
○善久寺(二四) 荒川の池(二五)の事
○福王寺(二六)
○無爲信寺(二七)
○名所舊跡の部
○福來洞(二八) 黑姫山 布川沼川
○犀濱(二九) 西濱 功德地の濱
○靈蛇の井(三〇) 八月十五日に限り井水
充滿の事
○不出ヶ澤(三一) 牧野忠辰
○神保原(三二)
○藤原武衡の舊跡(三三)
○池大納言の墓(三四) 館屋敷
○靜女の墓(三五)
○奇石 承前(三六) 立石山 龜石 池之端
村社 地の石 夜光の石 鯉石 音稜
石 胡瓜石 牛額石 上出村神體の石
○古城跡の部
○赤谷の古城跡(一) 井筒女之助信
連
○五泉の古城跡(二)
○小栗山の古城跡(三)
○山本の古城跡(四)
○夏戸の古城跡(五)
○北野の古城跡(六) 禪師丸の事
○高寺の古城跡(七) コブ榎
○富島の古城跡(八) 四清水(九)
○中澤の古城跡(一〇)
○中渚の古城跡(一一)
○今泉の古城跡(一二) 古池 殿塚馬塚
○物の起原の部
○城郭(一) 稻城 常城 石壁壘 天守
○關所(二) 大化二年の制 元和平治の
後五十二ヶ所 イヌクマリの事(三)の事
○船名(四) 神代 輕野 舟と船 千解船
檣垣 ハガヘセ イサバ 押廻し
北國船(五)の事 御座船 過書船 間
三小 イマキセ 上荷船堀江船茶船
ケンザキ ペカ船 猪牙船 檣皮
○茶の湯(六) 茶の式 茶の湯 珠光

溫古の葉

二

干 甘露梅 山葵漬 葛粉 素麵 蕎麥切 燒酎 ゆば 豆腐 納豆 餡 栗飴 酒 醬油 栗盛 絞油 干魚 鮫 鰯皮 干鰯 鰯でんぶ 鮭 鹽引 製菓 芋羹餅越の専門頭 栗羹頭 芋種 芋羹餅 餅白玉

○習慣の部

○家の百年忌(二九)

○所替等の時作事所へ引渡す品目

(二九)

◎當國郡村名土地習慣の稱呼並に
新町村名讀方
○古志郡（三四）

正誤（三七）
會告 廣告

○神祇傳記の音

○鶺鴒神社モ 雌雄の龍形新雨 龜淵

注連頭

○日枝神社モ

○巢守神社ハ 疣石

○赤城神社ハ 避道 赤城のしるし木

○吉豊神社ハ 黒鳥兵衛 吉豊姜淺篠

が事

○岩野大日堂ハ 阿彌奈彌命

○伊勢平治觀音堂ハ

○長峰の古城跡（七）
○大關の古城跡（七）
善光寺村
○池之端の古城跡（七）
三好地藏
善・經の治
○女堂の古城跡（八）
千坂家居城
◎物の起原の部
○養蠶（一）
雄略帝
天照大神
螺羸
春日山（大森堂）

○冷水の田、深田に砂利入るべし
(一九)

○古田へ畑土、畑へ古田の土を入れる
(一九)

○旱損の虞ある田に畔を立つべし
(一九)

○用捨函の答(三二)
○巾函の答(三三)
○麁の答(三四) かやばた
○昔時領主の新酒嘗ありし答(三五)
○所請狀寺請狀及び宗判の答(三六)
○女子の名頭におの字を附る答(三七)
○シダラムキ遊びの答(三八)

持寺の古寶

○本條白山神社(八) 本城分古釋蛭田村
遣水の里

○千手八幡宮(八) 青龍ヶ池跡

○福田觀音堂(八) 西津神社舊跡

○佐々木太子堂(九) 親鸞作太子像

○杉之森藥師堂(九) 行基作藥師及十二

○印形（二） 印形の濫觴 實永十二年所
形の制
○甲冑（二） 明珍家歴代族譜曰 諸流名
目 着用故實 幸若舞攝用夜討の時云
日威・水魚威
○佛工（二） 諸流始祖 行基 鳥佛師

- 碁・將棋(一)
- 異國往來船(二) 渡海船 寛永の禁
- 名家去就の部 細目省略
- 與板の三輪家去就(二)
- 割野の青木家去就(二)
- 佐藤莊司の後裔(二)
- 偉人の傳 細目省略
- 釋良寛(二)
- 鍛冶天九郎(二)
- 古書器の部
- 桃井親王の畫像(二)
- 楠正成の書翰(二)〔附〕九穴の貝
- 正宗銘刀 神代の酒瓶 光岡書翰
- 上杉謙信の遺品(二) 水吸筒其他
- 義士の眞蹟(二) 同上寫眞
- 伊比の古鐘(二)
- 船の井筒(二)
- 民間必要の部
- 田一坪稻三十六株の事(二) 一株十
- 一莖 一莖百五十六粒
- 畑の畝立の事(二)
- 黒土の畝入心得(二)
- 播種の心得(二)
- 杉木立に竹を植る事(二) 架木立の
- 杉の植方の事(二)
- 火の用心の事(二)
- 習慣の部
- 御料所(二) 御廣分 御代料 御公料
- 領主巡回(二)
- 前垂(二) 紅染の所以
- 布子(二) 青染一ツ紋 重着を忌む事
- 寝火(二)
- 神官僧侶及村名主の年賀(二)
- 削りかけ(二) 嫁たゝき「男まふけ子まふけ」

- 立茶(二) 鹽入茶
- 蕎麥切を繋ぐの作法(二)
- 温古學問答の部
- 彌勒歌の問(二)
- ト策濫觴の問(二)
- 修驗山伏濫觴竝に制度の問(二)
- 人名に鬼字惡字を冠する所以の問(二)
- 目印畫の問(二)
- 河童の問(二)
- 男女厄年の答(二)
- 大津繪の答(二)
- 鷹匠餌廻りの答(二)
- 國禁書々名の答(二)
- 内佛の答(二)
- 手拭帽子の答(二)
- ばんどりの答(二)
- おどけの答(二)
- 社中詠草(二)
- 國內町村名讀方一覽 其三
- 中魚沼郡
- 沿革の部
- 國郡訓義(二) 國郡の名二字に改められし事 クニ・アガタ・ムラ・サト 道・國・郡郷里 同訓異字・同字異訓の事
- 松平越後家遺領(二) 天和二年新檢高
- 長岡領民制度 承前(二) 衣食住の制
- 臭水油(二) 石油
- 鐵罐の年度其慘狀(二)
- 田畑の肥料(二) 木葉 柴木 刈草 糞

- 踏草 カツジキ 不淨肥 糞尿 糞
- 灰 糞糠 干鰯 米糠 油糟 紅花
- 神社佛閣の部
- 御島石部神社(二)
- 横枕二宮神社(二)
- 豐語神明宮(二) 太神宮の奇石
- 七光神社(二)
- 鉢の石佛(二) 鑛坂の由來
- 大倉觀音堂(二) 蠶祈り
- 大積大日堂(二)
- 柏崎町中地蔵(二) 坐地藏 立地藏
- 能滿寺(二)
- 普光寺(二)
- 長嚴寺(二)
- 蓮光寺(二) 火遁れの名號
- 本善寺(二)
- 名所舊蹟の部
- 加治山の藏間屋(二)
- 三面の大豆峠(二)
- 古奈和澤の池(二) 片目の魚鼈 出入變りの山
- 我武五輪(二)
- 龜井六郎の舊跡(二)
- 自來也の舊跡(二)
- 奇石 承前(二) 百束村わがの入の由來 釜石婆石 兒玉石 火光石 劍堀石 石鐵其他
- 古城跡の部
- 荷頃(二) 古城跡(二)
- 下條(二) 古城跡(二)
- 田頭(二) 古城跡(二)
- 小丸山の古城跡(二)
- 根古屋の古城跡(二)
- 須田の古城跡(二)
- 橋本の古城跡(二)
- 物の起原の部

- 刀劍類(二) 刀工 日利 賣買の券
- 薙刀 鈴 手裏劍
- 畫(二) 六法 畫工 似顔繪 葦手繪 彩色 畫贊
- 數字(二) 數字の古稱 十と十二の事
- 鞠(二)
- 灸點(二)
- 炬燵(二) 置火 鞍こたつ
- 奴(二)
- 男色(二)
- 名家去就の部
- 長岡の山本家去就(二)
- 大村の堀家去就(二)
- 偉人の傳
- 釋萬元(二)
- 忍字翁佐藤佐平次小傳(二)
- 古書器の部
- 牧野忠成の壁書(二)
- 小豆長光の刀(二)
- 稻垣家の血鎗(二)
- 倉俣の打鐘(二)
- 稻田長者の佛壇(二)
- 民間必要の部
- かんじき(二) 間かんじき 鼻かんじき 鶴かんじき すかり 藁靴 ワラボウシ ハツパキ ツマカケ ウソカ ケフカクツ
- 雪菰(二)
- 筵(二)
- 依(二)
- 荷繩(二) 左繩三ツ操になふ事
- 藥(二)
- 鋤鉄の柄(二)
- 習慣の部
- 仲間地(二)
- 初穂米(二) 一升旦那 伊勢免 伊勢

- 領
- 神祭田(二)
- 涙雨(二)
- 八木の節(二) 牛麁の饗應
- 書飯の稱呼(二)
- 温古學問答の部
- 武家裝束一般の禁制物の問(二)
- 穴賢・候・有難の問(二)
- 布子・蓑の問(二)
- 彌勒歌の答(二)
- ト笠の答(二)
- 人名に惡或は鬼の字を冠せる答(二)
- 寄稿
- 天保度柏崎騷動の顛末(二)
- 社中詠草(二)
- 國內町村名讀方一覽 其四
- 北魚沼郡(二)
- 沿革の部
- 洪水の年度 信濃川(二)
- 鐵罐の年度其慘狀 承前(二) 救荒食物
- 三面川の鮭漁(二) 青砥武平次 齋藤水右衛門 阿賀川の鮭漁
- 神社佛閣の部
- 魚沼神社(二) 神立大明神 七本杉
- 高田神明宮(二)
- 沖布八幡宮(二)
- 少彦名神社(二) 神田の藥師
- 高見神社(二)

- 矢立 藥師(二) 齒を病む者祈願に梨を斷つ事
- 蓮華寺釋迦堂(二)
- 八王寺地藏堂(二) 瘧の地蔵
- 極成寺(二)
- 龍源寺(二)
- 安養寺(二)
- 性宗寺(二)
- 東善寺(二)
- 名所舊蹟の部
- 桂の關(二)
- 下の上むら(二)
- 八木ヶ鼻(二)
- 日蓮清水(二)
- 姨ヶ井(二)
- 赤石河原(二)
- 福島長者の舊跡(二)
- 源義仲陣營の舊跡(二)
- 古城跡の部
- 攝田屋の古城跡(二)
- 荒岩の古城跡(二)
- 茨曾根の古城跡(二)
- 願文山の古城跡(二)
- 上澤の古城跡(二)
- 雁金の古城跡(二)
- 物之起原の部
- 弓(二) 的 桶 矢 うつば 楊弓
- 鐵砲(二)
- 女笠(二) 市女笠 玉淵 編笠 松坂笠 熊谷笠 虛無僧笠 塗笠 花笠 桔梗笠 菅笠 爪折笠 饅頭笠 蟲の垂絹
- 行燈・提灯(二) 松脂蠟燭
- 三味線(二)
- 骨牌類(二) 百人一首 三ッ扇 蘭人骨牌 十二目 花かるた

- 彙輯 其一(二) 諸事起原
- 名家去就の部
- 大和田の渡邊家去就(二)
- 種芋原の坂牧家去就(二)
- 長岡の九里家去就(二)
- 渡澤の岸家去就(二)
- 偉人の傳
- 忍字翁佐藤佐平次 承前(二)
- 釋幼空(二)
- 鈴木文臺(二)
- 由里女(二)
- 古書器の部
- 西行の眞蹟(二)
- 小豆長光の刀 承前(二)
- 神息の刀(二)
- 上杉謙信遺品 承前(二)
- 田邊家の古乳(二)
- 民間必要の部
- 種子稻の浸し方竝に苗の事(二)
- 種子稻升數の事(二) タナハツ・熬米
- 種子稻を曝す事(二) 苗 苗代田 手苗廿日 食粒
- 畑物時付方(二) 青さし
- 田畑物刈入の事(二)
- 麥刈・萱刈(二)
- 雪崩(二)
- 米穀貯藏法(二)
- 習慣の部
- 用水(二)
- 六夜待・三夜待(二)
- 寒念佛(二)
- 妙音講(二) 石塔の追善
- 膳洗(二)
- 太ヶ谷の遺習(二) 隠居の假居
- 温古學問答の部

- 平野の里の位置竝に當國海上群嶼の名稱の問(二)
- 友松の所在の問(二)
- 愛子の里・折居の里・霧原の里の所在の問(二)
- 金子の子字の問(二)
- 鐵漿濫觴の問(二)
- 羽織の羽字の問(二)
- 六日茶會の問(二)
- 修驗の答(二)
- 下馬札の答(二)
- 目印畫の答(二)
- 仁王遊びの答(二)
- 武家裝束禁制物の答(二)
- 穴賢の答(二)
- 河童の答(二)
- 寄稿
- 安政度栃尾騷動の顛末(二)
- 八の數(二)
- 國內町村名讀方一覽 其五
- 南魚沼郡(二)
- 沿革の部
- 公料收納(二)
- 長岡領免定帳(二)
- 洪水の年度 信濃川 承前(二)
- 栃尾峠(二)
- 神社佛閣の部
- 漆山神社 追加(二) 矢伏の神 矢伏神明
- 浦熟田神社(二)
- 高寺六社宮(二) 眼病の奇驗

- 蓮華寺七社宮(三)
- 黒津春日神社(三)
- 太田觀音堂(三)
- 新發田文珠堂(三) 楠靈社
- 上岩井觀音堂(三)
- 眞淨寺(三) 開基明教 丹波傳の消息
- 超願寺(三)
- 眞照寺(三)
- 大雲寺(三)

- 名家去就の部
- 下桐の近藤家去就(二)
- 長岡の秋原家去就(二)
- 十日町の五位家去就(二)
- 偉人の傳
- 釋玄翁(二)
- 五十嵐穆翁(二)
- 富取芳齋(二)

- 名所舊跡の部
- 弘法岩(三)
- 富士塚(三)
- 蓬平の深穴(三) チンカラリン
- 千木平の赤池(三)
- 下知ヶ原(三)
- 三ツ池(三) 中の池の浮島 大蛭
- 比叡塚(三) 俗稱ヒエ塚
- 順德天皇第三皇子の舊跡(三) 戀ヶ浦 御馬石御船石 龍燈松 鶯宿梅 苔梅 一宮大明神 二宮大明神 三宮大明神 眞野の山陵

- 古書器の部
- 牧野成定の壁書(二)
- 黒鳥詮任の事歴書(二)
- 八町家の鬼鎗(二)
- 村山家の橋杭(二)

- 古城跡の部
- 府屋の古城跡(三)
- 陣ヶ峰の古城跡(三)
- 谷澤の古城跡(三)
- 二日町の古城跡(三)
- 山葵谷の古城跡(三)
- 三官無の古城跡(三) 三貫梨

- 沿革の部
- 日本國人口(二)
- 庄屋(二) 庄司 庄屋 名田功田 名主
- 洪水の年度(信濃川) 承前(二)
- 麻子(二) 小川麻 金引亭 煮亭 白亭 櫻麻 大藤火麻 牡麻 麻の年取 青子 古引 新引

- 物之起源の部
- 土・農・工・商(二)
- 醫(二) 和氣丹波兩流 井氏 野原醫書
- 琴(二)
- 雙六類(二) 賽すり
- 彙輯 其(二) 諸事起原

- 神社佛閣の部
- 助郷、傳馬、大傳馬、○連棒 ○野廻り、番太郎、山番 ○若連中、若衆 ○男立、グワエン ○博徒、カクジン ○女衛、ケイアン ○桂をとこの浦瀬おんな ○箕立 棒立 菰立 ○三島郡間瀬村命名の奇習 同郡出雲崎邊の地名 ○漁家寶掛勘定の法

- 沿革の部
- 出雲崎公料代官所(二)
- 古今の風俗(二) 寛政十一年の遺稿鈔 出家祓給分の事 赤肌を隠す事
- 關川(二)
- 姫川(二)

- 宮之内の古城跡(二)
- 新津の古城跡(二)
- 物之起源の部
- 御代始 承前(二) 御即位の事 御禊 行幸の事 大嘗會の事
- 冠(二)
- 姓(二)
- 妻女の稱(二)
- 芝居 承前(二)
- 彙輯 其(二) 諸事起原

- 古書器の部
- 菅公の自畫(二)
- 長尾爲景の祈願書(二)
- 上杉謙信の寄附狀(二)
- 長峰塚の佛器(二)
- 源頼朝の護刀(二)

- 神社佛閣の部
- 柏崎神社(二) 鳥居がハリ 海底の磐石
- 飯塚八幡宮(二) 謙信の祈願狀其他
- 難波神社(二) 早照鏡、雨降鏡、風吹鏡
- 山姥神社(二)
- 下桐觀音堂(二)
- 榮涼寺(二)
- 善導寺(二)
- 妙行寺(二)

- 偉人の傳
- 釋天庵(二)
- 長谷川嵐溪(二)
- 波津女(二)

- 沿革の部
- 松川三之助(二)
- 以知女(二)
- 古書器の部
- 三島祭の畫(二) 三島歌 三島祭圖
- 源義家の護刀(二)
- 源義綱の畫(二)
- 楠正成の驛鈴(二)
- 高尾の奇鋒(二)

- 民間必要の部
- 天氣寒暖の事 ○灌水の事 ○耕耘收穫手間の事 ○農具製作手間の事

- 名所舊跡の部
- 名位の瀧(二)
- 塔の輪原(二)
- 力井(二)
- 西行戻石(二)
- 焼田の五ツ塚(二)
- 三宅の四塚(二)
- 耶麻の上田(二)
- 鋸山(二) 人形雪 王神雪
- 水質 承前(二) 門後の清水 幸清水 太田の井戸 御前清水 兒清水 岩ヶ根清水 藥王水 酢の井
- 蓮華部寺の舊跡(二) いたか澤
- 青木長者の舊跡(二) 長者ヶ原 亂穴
- 篠原長者の舊跡(二) 長者ヶ原

- 習慣の部
- 煤佛 ○藤の花立 ○引手物と云事 ○南入娘、お南等云事 ○夢判じ ○生分方 ○情死 ○護摩の灰 ○ハシリ、念佛廻り

- 沿革の部
- 水帳(二) 御圖帳 見圖帳 名寄帳 清帳 畝帳 精繪圖 龜繪圖
- 公儀巡見便(二)
- 峯山所領地(二)
- 古今の風俗 承前(二) 被衣 肌を顯す事 文身 剃眉 物の食樣
- 美術(二)
- 古代の米價(二) 建久三年より慶應二年迄
- 五泉平(二)
- 阿賀野川(二)
- 刈谷田川(二)

- 温古學問答の部
- 問(二) 越後古圖 水引 三宅連笠雄磨の傳説 神無月 燈籠躍 燒野の雄子夜の鶴と云事 栗島の讃語、猿舞しの唱歌 貝の名目百種
- 答(二) 鰐口、太鼓 巴女終焉地 羽織 布子 動物に化するもの 牡丹餅と萩の花 浮世袋 後妻打 妻敵打 唄比丘尼 敵の奥次郎 神人形遣ひ

- 古城跡の部
- 安塚の古城跡(二)
- 茶臼ヶ嶽の古城跡(二) かくれ窟
- 桂山の古城跡(二)
- 牛ヶ頸の古城跡(二)

- 習慣の部
- 九六、丁百の事 ○金一分を百疋と云事 ○寛永通寶の鑄錢の事

- 温古學問答の部
- 問(二) 錢戸田村の改稱 茅原、清水

第十七篇 明治二十四年 六月十五日發行

- 圓隆寺(二) 鷺の蔓茶籠
- 善勝寺(二)
- 名所舊跡の部
- 矢田の御所櫻(二) 御所櫻
- 磐若塚(二)
- 中永の靈木(二) さいの神
- 隱ヶ谷(二)
- 義經塚(二) 乳銀杏
- 三盆池(二) 片目の魚籠 サンバイサ ンバイ
- 水質(二) 藤茅清水 櫻清水 花清水 瓜割清水 熊坂清水 水草清水 七變水 半藏金の毒水
- 僧忠圓の舊跡(二)
- 平宗綱の舊跡(二)

- 古城跡の部
- 築地の古城跡(二)
- 猿橋の古城跡(二)
- 篠岡の古城跡(二) 花車の歌
- 横越の古城跡(二)
- 板堀の古城跡(二)
- 岩野原の古城跡(二) アラ城
- 笠島の古城跡(二)

- 物之起源の部
- 御代始(二) 一條禪閑筆の古書 御讓位の事 御即位の事
- 上下(二)
- 旗差物(二)
- 水車(二) 水からうす 地車 牛車 代八車 指南車
- 芝居(二)
- 謎(二)
- 彙輯 其(二) 諸事起原

- 名家去就の部
- 長岡の八町家去就(二)

- 沿革の部
- 水帳(二) 御圖帳 見圖帳 名寄帳 清帳 畝帳 精繪圖 龜繪圖
- 公儀巡見便(二)
- 峯山所領地(二)
- 古今の風俗 承前(二) 被衣 肌を顯す事 文身 剃眉 物の食樣
- 美術(二)
- 古代の米價(二) 建久三年より慶應二年迄
- 五泉平(二)
- 阿賀野川(二)
- 刈谷田川(二)

- 温古學問答の部
- 問(二) 錢戸田村の改稱 茅原、清水

- 沿革の部
- 水帳(二) 御圖帳 見圖帳 名寄帳 清帳 畝帳 精繪圖 龜繪圖
- 公儀巡見便(二)
- 峯山所領地(二)
- 古今の風俗 承前(二) 被衣 肌を顯す事 文身 剃眉 物の食樣
- 美術(二)
- 古代の米價(二) 建久三年より慶應二年迄
- 五泉平(二)
- 阿賀野川(二)
- 刈谷田川(二)

- 温古學問答の部
- 問(二) 錢戸田村の改稱 茅原、清水

- 沿革の部
- 水帳(二) 御圖帳 見圖帳 名寄帳 清帳 畝帳 精繪圖 龜繪圖
- 公儀巡見便(二)
- 峯山所領地(二)
- 古今の風俗 承前(二) 被衣 肌を顯す事 文身 剃眉 物の食樣
- 美術(二)
- 古代の米價(二) 建久三年より慶應二年迄
- 五泉平(二)
- 阿賀野川(二)
- 刈谷田川(二)

- 温古學問答の部
- 問(二) 錢戸田村の改稱 茅原、清水

- 沿革の部
- 水帳(二) 御圖帳 見圖帳 名寄帳 清帳 畝帳 精繪圖 龜繪圖
- 公儀巡見便(二)
- 峯山所領地(二)
- 古今の風俗 承前(二) 被衣 肌を顯す事 文身 剃眉 物の食樣
- 美術(二)
- 古代の米價(二) 建久三年より慶應二年迄
- 五泉平(二)
- 阿賀野川(二)
- 刈谷田川(二)

- 温古學問答の部
- 問(二) 錢戸田村の改稱 茅原、清水

第十八篇 明治二十四年 七月十五日發行

- 沿革の部
- 水帳(二) 御圖帳 見圖帳 名寄帳 清帳 畝帳 精繪圖 龜繪圖
- 公儀巡見便(二)
- 峯山所領地(二)
- 古今の風俗 承前(二) 被衣 肌を顯す事 文身 剃眉 物の食樣
- 美術(二)
- 古代の米價(二) 建久三年より慶應二年迄
- 五泉平(二)
- 阿賀野川(二)
- 刈谷田川(二)

- 温古學問答の部
- 問(二) 錢戸田村の改稱 茅原、清水

- 沿革の部
- 水帳(二) 御圖帳 見圖帳 名寄帳 清帳 畝帳 精繪圖 龜繪圖
- 公儀巡見便(二)
- 峯山所領地(二)
- 古今の風俗 承前(二) 被衣 肌を顯す事 文身 剃眉 物の食樣
- 美術(二)
- 古代の米價(二) 建久三年より慶應二年迄
- 五泉平(二)
- 阿賀野川(二)
- 刈谷田川(二)

- 温古學問答の部
- 問(二) 錢戸田村の改稱 茅原、清水

- 沿革の部
- 水帳(二) 御圖帳 見圖帳 名寄帳 清帳 畝帳 精繪圖 龜繪圖
- 公儀巡見便(二)
- 峯山所領地(二)
- 古今の風俗 承前(二) 被衣 肌を顯す事 文身 剃眉 物の食樣
- 美術(二)
- 古代の米價(二) 建久三年より慶應二年迄
- 五泉平(二)
- 阿賀野川(二)
- 刈谷田川(二)

◎潮音寺(一)
◎名所舊跡の部

- 角田山の追分(一)
- 砂子塚(一)
- 渡部の龜石(一)
- 戎山(一)
- 龜割坂(一)
- 旗持山(一)
- 神興岩(一)
- 石根木(一)
- 千谷川の有明橋(一) 有明橋の記
- 三宅連笠雄鷹の舊跡(一)

◎古城跡の部

- 卷の古城跡(一)
- 笹平の古城跡(一)
- 五分一の古城跡(一)
- 勝山の古城跡(一)
- 千谷澤の古城跡(一)
- 會川の古城跡(一)

◎物之起源の部

- 御代始 承前(一) 大嘗會の事 五節
- 八乙女(一)
- 文鑑二十七類(一)
- 拳(一) 蟲拳 石拳 狐拳 本拳 ト
- ヲハチ、オモンキメウと云懸聲
- 彙輯 其五(一) 諸事起原

◎名家去就の部

- 卷の久我家去就(一)
- 吉尾の齋京家去就(一)

◎偉人の傳

- 釋日正(一)
- 釋義導(一)
- 關守雄(一)
- 八百比丘尼(一)

◎古書器の部

- 齋藤家の越後古繪圖(一)
- 楠正成の教訓書(一)
- 小島貞弘の薙刀(一)
- 西村家の鬼像(一)
- 民間必要の部
- 地境、家廻りの植物 ○野菊 ○蚊遣、焚物の事 ○木槿、アカザの效

◎習慣の部

- 京間 ○おたち ○刈羽郡妙法寺村の遺習 ○同郡荒濱村魚賣女の風習 ○麥を伴附せざる土俗 ○城山の蓆旗 ○笠に大道寺龍寶舎と書て雷除となす咒

◎温古學問答の部

- 問(一) 里宇 高野金檢校金團左衛門金借用の事 錢獨樂 川中島合戦辨上杉謙信評
- 答(一) み祝 普請 油斷 先生 芭蕉翁當國にての吟

◎寄稿

- 太陽曆の起原竝に閏年(一)
- 物理論 其(一)(二)
- 東照宮鎮坐所(一)
- 國內町村名讀方一覽 其七 東頸城郡(一)

正誤(一) 廣告(一)

第十九篇 明治二十四年八月十五日發行

◎沿革の部

- 町村鑑(一)
- 柏崎陣屋(一)
- 神原家領民制度(一)

正誤 廣告(一)

第貳拾篇 明治二十四年九月十五日發行

◎沿革の部

- 當國新田村數(一)
- 三根山領制度(一) 條々
- 足利將軍家の居館(一)
- 十一藩士の員數(一)
- 貝と朱の通用(一)
- 鶴川(一)
- 名立川(一)

◎神社佛閣の部

- 大前神社(一)
- 大面鹿島神社(一)
- 老松神社(一) 神木かたがり松
- 小千谷地藏堂(一) なす崎地藏
- 萬善寺 追加(一)
- 西光寺(一) むぼ地藏 鐘ヶ淵
- 常福寺(一)
- 飯洞庵(一) 讀經地藏
- 明圓寺(一)

◎名所舊跡の部

- 柏崎(一)
- 天神塚(一)
- 名馬の池(一)
- 水艸局の舊跡(一)
- 蜃氣樓(一)

◎古城跡の部

- 岩澤の古城跡(一)
- 岩根の古城跡(一)
- 布施山の古城跡(一)
- 分田の古城跡(一)

温古の葉

◎三根山所領地 承前(一)

- 武家の勝手向(一)
- 當國華族祿券金額(一)
- 能生川(一)

◎神社佛閣の部

- 小布施神社(一)
- 物部神社 追加(一) 承應三年の舊記
- 一之木戸地藏堂(一)
- 東福寺(一)
- 來迎寺(一)
- 極樂寺(一)
- 顯本寺(一)
- 林泉庵(一)
- 不退寺(一)

◎名所舊跡の部

- 響山(一)
- 鏡の沖(一) 逆火歌が響火
- 三つ石(一)
- 蜻蛉橋(一)
- 棒の森(一)
- 朝日池(一)
- 二階堂の古墳(一)
- 稻田友麿の舊跡(一)
- 奇石 承前(一)

◎古城跡の部

- 浦佐の古城跡(一)
- 入河澤の古城跡(一)
- 藤井の古城跡(一)
- 大崎の古城跡(一)
- 竹森の古城跡(一)
- 月岡の古城跡(一)

◎物之起源の部

- 二十一代集(一)
- 宗旨(一)
- 舞樂(一)

◎寄稿

- 六の數(一)
- 物理論 其三(一)
- 故村山空谷翁北越懷古之詩
- 源氏物語の説教式部の評
- 故那須高堅翁遺稿あめつち歌竝解

正誤 會告(一) 町村名讀方一覽其他廣告(一)

第貳拾壹篇 明治二十四年十月十五日發行

◎沿革の部

- 郡縣・封縣(一)
- 三根山領制度 承前(一)
- 柏崎藏米平均相場(一) 自寶曆八年至元治二年
- 信濃川筋築堤工費(一)
- 石油鑛脈(一)
- 澁海川(一) 十二俵廿三瀧 さかべつたうの奇
- 鮭石川(一) 鮭石 千鳥

◎神社佛閣の部

- 多々神社(一)
- 淡島神社(一)
- 柏崎閭魔堂 追加(一)
- 片貝の藥師堂(一)
- 地藏院(一)
- 願念寺(一)
- 福嚴院(一) 子安地藏
- 洞雲寺(一)
- 洞仙庵(一)

◎名所舊跡の部

- 直江の津(一)

◎狼煙(一) 席布火筒火

- 菊(一) カハラヨモギ アキシベ
- 橘(一)
- 彙輯 其六(一) 諸事起原

◎名家去就の部

- 渡部の清水家去就(一)
- 上前島の青柳家去就(一)
- 雁島の片桐家去就(一)

◎偉人の傳

- 金内蕉岳(一)
- 釋貞心尼(一)
- 久良女

◎古書器の部

- 新田義貞の遺品(一)
- 和田義盛の遺書(一)
- 棚橋家の膳棚(一)
- 村山家娥媚山下橋の杭 追加(一)
- 民間必要の部
- ヒロモ ○花草或は紫蘇、藍等の根に毛髪を入る事 ○竹の肥料 ○萱 ○松
- 梅 ○柿 ○栗

◎習慣の部

- 膳配進 ○符帳 ○四度飯 ○神前へ土産物を供す ○命名に古城主の名を避
- 鍛冶鍛錬を作らず ○火事の與荷
- 茄子にトゲを生ず

◎温古學問答の部

- 問(一) 婦女の旅行 宿世の餅焼 一富士二鷹三茄子 替女頭おごいが由來
- 答(一) 里の字 高野金・檢校金・團左衛門金 錢獨樂 燒野の鳩夜の鶴 川中島合戦辨上杉謙信評 本邦曆法沿革

◎寄稿

- 物理論 其二(一)

◎古城跡の部

- 卷機山(一)
- だんごろ山(一) 羽森神社舊守の跡
- 樫山の圓山(一) 陶山藥師
- 白元山(一)
- 葡萄峠の法華塔(一) 爺清水
- 神田の櫻(一) 標のさくら
- 遊行松(一)
- 甲冑堂(一)

◎沿革の部

- 今泉の古城跡(一)
- 井澤の古城跡(一)
- 下平の古城跡(一)
- 本所の古城跡(一)
- 大室の古城跡(一)
- 葛籠山の古城跡(一)
- 下關の古城跡(一)

◎物之起源の部

- 天長節(一)
- 中古年號改元の月日(一)
- 鏡(一)
- 雛祭(一) 姫瓜雛の圖 ひるな草かづら子の圖

◎名家去就の部

- 小千谷の平澤家去就(一)
- 長岡の山本家去就(一)
- 蓮華寺の小川家去就(一)

◎偉人の傳

- 釋露伯(一)
- 釋如大尼(一)
- 星野鶴水(一)
- 間霜治郎兵衛(一)
- 曾乃女(一)
- 多幾女(一)

◎古書器の部

○豊臣秀吉の書翰(二四)
○豊臣家三奉行證文(二五)
○民間必要の部(二五)
○晴雨判断 ○二百十日 ○梅の葉を米俵に入
○林場 ○野草の効 益母・龍胆・人参

○習慣の部(二五)
○往來證 ○案狀・送帳 ○迷子を探る事
○晝生れ夜生れ ○瓢箪の根附・こるばる (下駄) ○馬一連 ○名椿福椿 (擔棒) ○七夕祭

○温古學問答の部
○問(二六) 引尋 月代 交飯の品目 田樂豆腐 春晝を鑑櫃に納 幽霊
○答(二六) 文の死生 丸の字 蕎麥切 餡餅を搗て祝ふ日 越後古圖 春秋社

○寄稿
○物理論 其四(二四) 承前(二五)
○あめつち歌並解 承前(二五)
正誤 會告 廣告(三七)

第貳拾貳篇 明治二十四年十一月十五日發行

○沿革の部
○越後記録の序書(一)
○村上領制度(二)
○松平越後守領地(示書)(五)
○町村の家屋(七)
○煙草の用方(八) 煙管の事 禮式の事
○荒川(二〇)
○胎内川(二〇)
○神社佛閣の部

○且飯野神社(二)
○十日町白山神社(二)
○蜘蛛池觀音堂(二) 蜘蛛の妖怪と行基
○柏崎町中地蔵(二) 追加
○下桐太子堂(二)
○明鏡寺(二)
○圓融寺(二)
○一念寺(二)
○名所舊跡の部
○朝草嶽(二) 一名大雲嶽
○駒込の赤坂(二五)
○大行檀(二五)
○鼠岩(二五)
○龜崎の杉(二五)
○玄蕃の森(二五) 關矢玄蕃の美舉
○名立崩(二五)
○鷲尾長卿の舊跡(二五)
○奇石 承前(二八)

○古城跡の部
○八石山の古城跡(二五)
○宮平の古城跡(二五)
○神立の古城跡(二五)
○町田の古城跡(二五)
○田切の古城跡(二五)
○里飯野の古城跡(二五)
○江上の古城跡(二五)
○物之起原の部
○朝儀年中行事(二五)
○柳營故事(二五)
○陶器(二五)
○漂漚杭(二五)
○彙輯 其九(二五) 事物起原

○名家去就の部
○與板小野家去就(二六)
○大地の山田家去就(二六)

○沿革の部
○改に女の五様と云事 ○丹前風 ○大食會 ○難船の荷物 ○増扶持 ○陸奥國白川に越後人多き事 ○仲使六歩行小歩行

第貳拾參篇 明治二十四年十二月十五日發行

○温古學問答の部
○問(二四) 鳴物停止 學術藝道名目 國役普請の制度
○答(二四) 鷹場 流作場 水治關係公裁書 幽霊 茅原・清水の姓
追加(二六) 第三篇圓福寺 第七篇宗祇の舊跡條 同篇耶麻の驛條 同篇渡部の古城跡條 第九篇三坂神社條 第十三篇釋萬元條 正誤 廣告(三八)

○長岡の福島家去就(二七)
○栃尾の富川家去就(二七)
○高田の皆川家去就(二七)
○四日町の田中家去就(二八)
○偉人の傳
○釋貞義(二八)
○千本木源太兵衛(二八)
○浦村以乃(二九)
○古書器の部
○源頼朝の賞狀(三〇)
○上杉謙信の證文(三〇)
○直江兼續下知狀(三〇)
○大島渡守(示書)(三一)
○島崎の血留(三一)
○民間必要の部(三一)
○井戸 ○唾液にて飢を凌ぐ事 ○かち栗・酸棗・干柿

○習慣の部(三一)
○有卦無卦 ○お火焚 ○隠れ蓑の占
○水神祭一名日輪祭 ○犬の子朔日 ○衣服を入置廣蓋の事 ○耳盤 ○大道寺檢地の明白 ○たゆふ筋 ○藁庭の敷物 ○筏一房

○温古學問答の部
○問(二四) 鷹場及其制度 流作場の制度 水治關係公裁書
○答(二四) 引尋 月代 交飯の品目 田樂豆腐 春晝を鑑櫃に納
正誤 廣告(三七)

○沿革の部
○安永九年枡代錢制定 寛政六年王神受候者取調 同十一年豆腐の制限
○加治川(二九)
○早川(二九)
○神社佛閣の部
○斐太神社(二九)
○川合神社(二九)
○五十公野神社(二九)
○平湯神社(二九)
○石上神社(二九)
○菅谷不動堂 追加(二九)
○北畠觀音堂(二九)
○小戸太子堂(二九)
○洞照寺(二九)
○長永寺(二九)
○稱念寺(二九)
○常顯寺(二九)
○不動院(二九)

第貳拾肆篇 明治二十五年一月十五日發行

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○驛路(二) 驛名里數
○當國諸侯新潟津出米(二)
○長岡領條目(二)
○小川莊領主(二)
○香具商(二) 十三品賣弘方免許十三香具商
○芋麻(二) 越後縮 フサ、シナといふ地名の事
○西川(二〇)
○清津川(二〇)
○中津川(二〇)
○神社佛閣の部
○坂本神社(二) 箭落八幡宮 盛綱の願文
○伊賀良志神社(二) 追加
○堀之内股倉神社(二)
○小木戸隱神社(二) 齒痛の靈驗 土民鶏卵を不食
○大津八幡宮(二)
○新潟毘沙門堂(二)
○伊勢平治觀音堂(二) 追加
○慶福寺(二)
○長明寺(二)
○光林寺(二)
○常福寺(二) 追加

○名所舊跡の部
○歌枕 承前(二五) 越の國 奴奈川 越の長濱 名古の繼橋 名古の浦 鳥屋野の里 伊久禮の森 あらかひの松原
○黒姫山(二五)
○八色の原(二五)
○梅之俣西王母(二五)
○一夜梅(二五)
○空海の標石(二五)
○燒酎の池(二五)
○虎の前墳墓(二五)

○沿革の部
○水質 承前(二九)
○古城跡の部
○仁田の古城跡(二九)
○眞人の古城跡(二九)
○根古屋の古城跡(二九)
○室野の古城跡(二九)
○加納の古城跡(二九)
○野積の古城跡(二九)
○虚空山の古城跡(二九)
○物之起原の部
○柳營故事 承前(二四)
○國史學(二四)
○遊行派の巡回(二四)
○小判(二四)
○彙輯 其十二(二五)

第貳拾伍篇 明治二十五年一月十五日發行

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○水質 承前(二九)
○古城跡の部
○仁田の古城跡(二九)
○眞人の古城跡(二九)
○根古屋の古城跡(二九)
○室野の古城跡(二九)
○加納の古城跡(二九)
○野積の古城跡(二九)
○虚空山の古城跡(二九)
○物之起原の部
○柳營故事 承前(二四)
○國史學(二四)
○遊行派の巡回(二四)
○小判(二四)
○彙輯 其十二(二五)

○名家去就の部
○吉水の井上家去就(二六)
○千谷川の星野家去就(二六)
○村松の池田家去就(二六)
○偉人の傳
○館柳灣(二六)
○日光寺翁(二六)
○五十嵐三郎右衛門(二六)
○古書器の部
○普光寺の古書(二六)
○釜澤の鰐口(二六)
○加茂の經筒(二六)
○鶴ヶ會根のオコセ(二六)
○逆合狐の證文(二六)
○民間必要の部(二六)
○米値段の高下 ○餅の施肥法
○習慣の部(二六)
○道中荷物の貫目 ○質の利息 ○表印裏印 ○嫁入道具 ○鬼役 ○關所手形

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

第貳拾陸篇 明治二十五年一月十五日發行

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

第貳拾柒篇 明治二十五年一月十五日發行

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

第貳拾捌篇 明治二十五年一月十五日發行

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

第貳拾玖篇 明治二十五年一月十五日發行

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

第貳拾貳篇 明治二十四年十一月十五日發行

○沿革の部
○天正年中の莊郷名(二)
○公武の官稱(二)
○豊凶年表(二) 自延寶元年至慶應元年
○儉約(二) 長岡領寶曆度の示達
○誓詞(二) 一名神文 文例
○文章(二)
○言語(二)
○長岡故事(二) 丹波井戸丹波河戸 元和二年延寶八年米穀買入、米油搾取の禁 天和元年米座の事 天和二年圍米の事 同三年家中召使人の定 同年寛永通寶新錢の事 元禄十年新大川開鑿 同十一年絹紬布木綿尺幅の制 正徳三年吳服屋の御觸 享保三年藥禮制定 同六年城内雪中道路付申付 同年大工組常勤 同八年諸職人作料の定 寛延元年左近の土手工事

第貳拾五篇 明治二十五年 二月十五日發行

- 沿革の部
 - 祭神(一)
 - 村名考(二)
 - 願書届書の認方(三)
 - 鳴物停止(四)
 - 長岡故事 承前(五) 正保四年龜塚場設定 慶安三年柿實上納 延寶三年相對借利息定率並元祿三年改定 貞享元年家中建馬(役馬)制定 同年毛坊主停止 同年諸役所番所に火鉢を許さる 同年吟味役設定 元祿九年作扶食渡制定 同年家中屋敷入用の葦藁定値拂下並元文中より大根其他を以て相對品納となる 寶永二年領内普請入用歩合制定 同五年六齋の休日設定並明和嘉永の改定 寶永六年大赦 享保元年飛脚の規定 同年大庄屋を割元と改む 同年用木の制定 同六年長岡町に支配檢斷三組を設く 寶曆十一年納諸紙目方制定 同年納炭直段制定 同十二年米糠五十貫米一俵替の定
 - 新潟故事(五) 天明七年領主牧野家書上 寛永十八年會根組に役所を設く 承應二年砂除方申付 元祿七年船道設定 同十一年沼垂附洲島出入 享保十一年沼垂湊出入 同十五年松ヶ崎濱堀割 寛保二年地役人公用出取に付定 延享四年附寄島新開 寶曆十年附寄島記録 安永元年阿賀野川堀割 天保十四年公儀上知
 - 宿村送者・横死者の取扱(六)
 - 公儀仕置定書百箇條(七)
- 神社佛閣の部
 - 物部神社(一)

- 石井神社(一)
- 親澤一王子神社(二)
- 吉田天満宮(三)
- 裕田不動堂(四)
- 瑞泉寺(五)
- 明覺寺(六)
- 眞福寺(七)
- 源昌寺(八)
- 名所舊跡の部
 - 以東ヶ嶽(一)
 - 蒲原の津(二)
 - 砂山の鳥巢(三)
 - 大出の原(四)
 - 片葉の蘆(五) 居多神社境内
 - 佐渡わたりの鴉(六)
 - 須川(七) 諏訪沼跡のふけ田 馬逐島
 - 縄結の規(八)
 - 石綿論(九) 黒田玄鶴翁遺著
- 古城跡の部
 - 岩手の古城跡(一)
 - 新山の古城跡(二)
 - 川治の古城跡(三)
 - 久田の古城跡(四)
 - 森町山の古城跡(五)
 - 大崎の古城跡(六)
 - 古館の古城跡(七)
- 物之起原の部
 - 舞樂(一)
 - 各領主の高札 承前(二)
- 名家去就の部
 - 打越の小林家去就(一)
 - 長岡の柳澤家去就(二)
 - 四郎丸の保地家去就(三)
- 偉人の傳

- 釋亮淳(一)
- 山本老迂齋(二)
- 遠藤休悟(三)
- 古書器の部
 - 辨慶の書(一)
 - 牧野家の陣貝(二)
 - 關谷兼則判(三)
- 草木考(四)
- 蘿(五) 芭蕉 薛荔まきのかつら
- 薄荷(六) 梓 櫛 櫛
- 民間必要の部
 - 雪水を貯る事 〇火の呪 〇飢を凌ぐ 團子 〇寒中心得
- 習慣の部
 - 寒垢離 〇火渡り 〇宮参り・喰初め
 - 六阿彌陀参・六地藏参・七観音参・八藥師参 〇敷入 〇郷宿 〇一宿屋
- 温古學問答の部
 - 問(一) 江南竹 七種の奇草 越後の山川歌(名をさる歌) 寺入歌・問答歌 鳥羽繪瀧
 - 答(二) 學術藝道流派名目
- 詞林の部
 - 詠草 〇雅言小解
- 投書の部
 - 明和度新潟港騒動の顛末(一)
 - 長岡藩中右京柄騒動の顛末(二) 五の數(三)

- 沿革の部
 - 新發田領法度書(一)
 - 公儀仕置定書百箇條 承前(二)
 - 地割(三)
 - 長岡故事 承前(四) 引曆二年家中諸侍家作制度制定 寛永十七年領内驛場夫馬定備 藏王祭慣例 石内極樂寺門前賣女 草生津村中島 鳥巢取落方嚴達 元文五年町内外井戸設定
 - 三條故事(五) 地名由来 島の城 重陽を祝する事 東本願寺三條掛所
 - 中古の質素(六) 松平光長 牧野忠成 溝口秀勝
 - 村名考 承前(七)
- 神社佛閣の部
 - 五十君神社(一)
 - 西奈彌神社(二)
 - 大部神社(三)
 - 五所神社(四)
 - 長岡近在王神の説(五)
 - 光源寺(六)
 - 高安寺(七)
 - 善念寺(八)
 - 光福寺(九)
- 名所舊跡の部
 - 大日ヶ嶽(一)
 - 鳥鵲の橋(二)
 - 尾張連の舊跡(三)
 - 石綿論 承前(四)
- 古城跡の部
 - 關山の古城跡(一)
 - 中條の古城跡(二)

- 小島谷の古城跡(一)
- 熊澤の古城跡(二)
- 水原の古城跡(三)
- 大場澤の古城跡(四)
- 物之起原の部
 - 平安城(一)
 - 感狀(二)
 - 茶番狂言(三)
 - 長岡船道(四)
 - 彙輯 其十二(五)
- 名家去就の部
 - 長岡の三間家去就(一)
 - 高山の矢尾板家去就(二)
 - 浦村の佐藤家去就(三)
- 偉人の傳
 - 釋圓輪(一)
 - 細貝靜山(二)
 - 山本道圓(三)
 - 登美女(四)
- 古書器の部
 - 平忠盛の書(一)
 - 村山家の貨幣圖 其十一(二) 桑名領(柏崎陣屋)通用米札
 - 良觀の畫(三)
- 草木考(四)
- 桐 〇海石榴 〇山茶花 〇凍青 〇雪割草 〇三白草 〇酢漿草 〇竹
- 民間必要の部
 - 鼠害 〇土龍の害 〇蟲害
- 習慣の部
 - 牛頭天王の信者胡瓜を不食事 〇繪具賣 〇龜甲餅(ばつかつ餅) 柏葉餅 〇福分

- 温古學問答の部
 - 問(一) 朝廷語原 禮紙の例 折檻 傍若無人 在判 白波
 - 答(二) 七種の奇草 越後の山川歌 寺入歌 鳥羽繪
 - 詞林の部
 - 詠草 〇言海 雅言小解(二)
 - 投書の部
 - 五の數 承前(三)
- 沿革の部
 - 公儀仕置定書百箇條 承前(一)
 - 新發田領新令條(二)
 - 三湯(三) 西蒲原郡鋤湯 田湯 大湯
 - 新田開發の制度(四) 元祿十四年觸示
 - 持高讓渡の制度(五)
 - 村名考 承前(六)
- 神社佛閣の部
 - 大野神社(一)
 - 荒川神社(二)
 - 諸冊神社(三)
 - 上除八幡宮(四)
 - 長岡の天満宮(五)
 - 寶光寺(六)
 - 願興寺(七)
 - 雲臺寺(八)

第貳拾七編 明治二十五年 四月十五日發行

- 乘國寺(一)
- 名所舊跡の部
 - 戸倉山(一)
 - 小峯ヶ原(二)
 - 奈古の入江(三)
 - 九十九池(四)
 - 繫櫃(五)
- 古城跡の部
 - 寶塔山の古城跡(一)
 - 松岡の古城跡(二)
 - 加茂下條の古城跡(三)
 - 横田の古城跡(四)
 - 黒岩の古城跡(五)
 - 藤原の古城跡(六)
- 物之起原の部
 - 蒼紫の神號(一)
 - 書翰禮式 承前(二)
 - 關大(三)
 - 風呂吹(四)
- 名家去就の部
 - 高田藩の組廻れ衆(一)
 - 長岡の稻葉家去就(二)
 - 土合の荒川家去就(三)
- 偉人の傳
 - 釋義承(一)
 - 釋利圓(二)
 - 小幡武兵衛(三)
 - 關矢凌雲(四)
- 古書器の部
 - 足利義政の書(一)
 - 内藤家の書畫帖(二)

- 草木考(一)
- 柏木 〇兒手柏 〇檜 〇平地木 〇鼓子花 〇雁來紅 〇蒙吾 〇蒙芝
- 民間必要の部
 - 作物再植期 〇串柿干方 〇澱粉晒方 〇粟の穂穀を焚 〇火の保方 〇柿澁貯方 〇象牙細工手入 〇鹿角の軟げ方 〇海魚生方
- 習慣の部
 - 厄年 〇鬼門 〇里歸り 〇廿四孝 〇風呂轡鼻 〇湯桶具風呂敷
- 温古學問答の部
 - 問(一) 進止 的便 算盤の沿革 蠅 蟲除法 古俚歌棒盡し
 - 答(二) 朝廷 在判 折檻 白波 傍若無人 越後山川歌 承前
- 詞林の部
 - 御製 〇故芭蕉翁口授遺稿 〇鸚鵡返し 〇歌 〇農夫の吟 〇言海(三)
- 投書の部
 - 五の數 承前(三)
 - 蜘蛛の巣の考(四)
 - 明治維新前百姓一揆の説(五)
 - 起請の濫觴(六)
 - 茶の功能(七)

第貳拾八編 明治二十五年 五月十五日發行

- 會説(一) 温古家と歴史家
- 神社佛閣分教會所錄事 出 雲大社教新潟縣 郡事務所 錄事(三) 正誤 廣告(三)

沿革の部

- 慶長度支配職の示書(一)
- 公儀仕置定書百箇條 承前(三)
- 分戸の制度(七)
- 殺生鐵炮の制度(六)
- 遊廓(八)
- 村名考 承前(一〇)

神社佛閣の部

- 山野神社(一)
- 水島磯部神社(二)
- 多岐神社(三)
- 青海神社 追加(三)
- 赤崎神社(三)
- 専福寺(三)
- 専徳寺(三)
- 法蓮寺(四)
- 西方院(四)

名所舊跡の部

- 風倉山(四)
- 大槻湯(五)
- 愛子の里(五)
- 八英梅(六)
- 藤原藤房の舊跡(六)
- 古城跡の部
- 猿澤山の古城跡(七)
- 折居の古城跡(七)
- 堀越の古城跡(七)
- 中山の古城跡(七)
- 大井平の古城跡(七)
- 籠町の古城跡(七)
- 物之起原の部
- 書翰禮式 承前(一八)
- 萬歳(二〇)

- 相生・相慰(一)
- 摺印(一)
- 彙輯 其十五(一)

名家去就の部

- 長岡藩の三組衆(三)
- 下山の岡家去就(三)
- 西野の大石家去就(三)

偉人の傳

- 釋惠性(三)
- 釋俊意(三)
- 長谷川竹窓(四)
- 車善九郎(四)
- 古書器の部
- 上杉謙信の屏風(五)
- 上古の土器(五)
- 草木考(六)
- 樟(六)
- 寶香(六)
- 羅傘(六)
- 民間必要の部(六)
- 習慣の部(六)
- 人々を呼にニハヤと云(六)
- 陰部をナサケと云(六)
- 化(六)
- フサギ(六)
- 北浦原郡北丸山村奇習(六)
- 谷蕎麥喰の神(六)
- 問(三)
- 防方 熊坂長範出生地 城の板額 婚姻 古俗
- 答(三)
- 進止 的便 笠盤沿革 蝦蟇

- 除法 古俳歌棒盡し附十本松 江南竹
- 詞林の部(四)
- 烈公詠船歌 ○難題歌 ○言海(四)
- 神宮教長岡分教會所録事(三)
- 追加 正誤(七) 廣告(三八)

第貳拾九編 明治二十五年 六月十五日發行

沿革の部

- 新潟縣の管轄(一)
- 公儀仕置定書百箇條 承前(一)
- 椎谷領法度書(五)
- 高綱遣の制度(七)
- 越石田地(八)
- 村名考 承前(八)

神社佛閣の部

- 阿比多神社(九)
- 蒲原神社(九)
- 藤戸神社(九)
- 日枝神社(一〇)
- 耶麻神社(一〇)
- 大地主神社(一〇)
- 靈顯寺(一)
- 善行寺(一)
- 光源寺(一)

名所舊跡の部

- 飯土山(一)
- ころゝの里(二)
- 長濱關の舊跡(三)
- 間遠の渡り(三)
- 古城跡の部

- 寺泊の古城跡(三)
- 小立山の古城跡(三)
- 綱の子の古城跡(四)
- 白米ヶ嶽の古城跡(四)
- 中條の古城跡(四)
- 立島山の古城跡(四)

物之起原の部

- 書翰禮式 承前(一五)
- 僧祿司(一)
- 山師(一)
- 川師(一)
- おいらん(一)
- 彙輯 其十六(一)
- 名家去就の部
- 福田の小林家去就(二)
- 河野の三家去就(二)
- 赤塚の石黒家去就(二)
- 偉人の傳
- 釋圓照(二)
- 釋海雲(三)
- 高橋隨軒(三)
- 農彌三兵衛(三)
- 古書器の部
- 蒲生家簾の名號(一)
- 上古の寶玉(一)
- 本明の古乳(一)
- 草木考(一)
- 櫻(一)
- 桃(一)
- 合歡木(一)
- 百合(一)
- 紫苑(一)
- 常夏(一)
- 白粉草(一)
- 民間必要の部(一)
- 檢見心得(一)
- 田螺(一)
- 麥奴(一)
- 習慣の部(一)
- 岩船郡海邊の漁獲物(一)
- 出雲崎船歌(一)
- 佛家の隱語(一)
- 命名の奇習(一)
- 忌嫁

溫古學問答の部

- 問(二)
- おげ 眞宗の回談 朱三朱四 鬼子
- 答(七)
- 防方 熊坂長範出生地 城の板額 婚姻 古俗
- 詞林の部(一〇)
- 故良寛翁の述懷 ○言海(五) ○箴言
- 投書の部
- 明治維新前百姓一揆の説 承前(三)
- 五の數 承前(三)
- 樂亭の壁書(三)
- 生來盲目の動物(三)
- 甲陽軍鑑(三)
- 書籍の由來(三)
- 太閤物嘆狀(三)
- 神宮教長岡分教會所録事 正誤 廣告 越の海(三七)

名所舊跡の部

- 長瀬神社(一)
- 三宅神社 追加(一)
- 西村八幡宮(三)
- 若宮神社(三)
- 河波良神社(四)
- 延命寺(四)
- 極樂寺(五)
- 眞福寺(五)

古書器の部

- 大月山(五)
- 金倉山(五)
- 沖見嶺(五)
- 止曾古の漬(五)
- 霧原の里(五)
- 出雲崎港(五)
- 應爺木の塚(五)
- 神原の井壺(五)
- 折居の橋(五)
- 古城跡の部
- 國府の古城跡(九)
- 小千谷の古城跡(九)
- 廣田の古城跡(九)
- 麻生平の古城跡(九)
- 澤海の古城跡(一〇)
- 山口の古城跡(一〇)
- 菅谷の古城跡(一〇)
- 物之起原の部
- 内宮外宮(一)
- 訓讀(一)
- 書翰禮式 承前(一)
- 米の市(一)
- 彙輯 其十七(一)
- 名家去就の部

溫古學問答の部

- 藤原藤房の後裔(二)
- 妙法寺の西村家去就(二)
- 中家の星野家去就(二)
- 釋顯照(三)
- 高野餘慶(三)
- 魂淳(三)
- 山女(三)
- 古書器の部
- 上杉謙信の書(六)
- 上古の金枕(六)
- 伊藤家の奇石(七)
- 草木考(七)
- 漆(七)
- 山漆(七)
- 柿(七)
- 枸杞(七)
- 庵子(七)
- 草草
- 民間必要の部(七)
- 板布等に物を書く法(七)
- 焼印(七)
- 洋燈用方
- 習慣の部(七)
- 願成就日・不就成日・金神七殺 ○忌嫌 ○吉兆(三)
- 溫古學問答の部
- 問(一)
- けさ歌 正平革 ホエトウ 甲冑の由來 佐渡翁
- 答(三)
- おげ 朱三朱四 鬼子
- 詞林の部(一〇)
- 故本居翁書同じ文字なき四十七七もの歌 ○故良寛翁發句遺稿 ○言海(六)
- 投書の部
- 甲陽軍鑑 承前(三)

高山見渡方角(一六)

神宮教長岡分教會所録事(三七) 正誤 會告(三八)

第參拾壹編 明治二十五年 八月十五日發行

沿革の部

- 武家諸法度(一)
- 公儀仕置定書百箇條 承前(三)
- 浦方高札(六)
- 訴狀函(七)
- 三島郡村々本途田畑取箇
- 村名考 承前(八)
- 神社佛閣の部
- 宇都良波志神社(九)
- 乙子神社(九)
- 高野神社(九)
- 櫻井神社(一〇)
- 金屋八幡宮(一〇)
- 雷土神社(一〇)
- 觀音寺(一〇)
- 妙光寺(一)
- 光圓寺(一)
- 名所舊跡の部
- 菱ヶ嶽(一)
- 鳴澤山(一)
- 磯建臣命の陵墓(一)
- 溝口家米廩の舊跡(一)
- 興正寺門跡照超舊跡(一)
- 紫屋軒宗長舊跡(一)
- 溫泉考(一)